

樞密院會議筆記

一千九百三十年ロンドン海軍
條約御批准ノ件

昭和五年十月一日(水曜日)午前十時二十五分開
議

聖上臨御

出席員

倉富議長

平沼副議長

大臣

濱口内閣總理大臣 四番

財部海軍大臣 五番

幣原外務大臣	六番
江木鐵道大臣	七番
渡邊司法大臣	八番
井上大藏大臣	九番
俵 商工大臣	十番
安達内務大臣	十一番
町田農林大臣	十二番
松田拓務大臣	十三番
田中文部大臣	十五番
阿部陸軍大臣臨時代理	十六番

顧問官

伊東顧問官	十八番
金子顧問官	二十番
久保田顧問官	廿一番
富井顧問官	廿二番
石黒顧問官	廿三番
山川顧問官	廿四番
黒田顧問官	廿五番
古市顧問官	廿六番
松室顧問官	廿七番

江木顧問官 廿八番

櫻井顧問官 廿九番

田顧問官 三十番

荒井顧問官 卅一番

河合顧問官 卅二番

鎌田顧問官 卅四番

鈴木顧問官 卅五番

石井顧問官 卅六番

水町顧問官 卅七番

岡田顧問官 卅八番

福田顧問官 卅九番

關席員

皇族

雍仁親王 一番

宣仁親王 二番

載仁親王 三番

大臣

小泉遞信大臣 十四番

顧問官

九鬼顧問官 十九番

石原顧問官

卅三番

委員

川崎法制局長官

金森法制局參事官

吉田外務次官

松永外務省條約局長

堀田外務省歐米局長

齋藤外務省情報部長

山形外務書記官

塩崎外務書記官

深田外務事務官

山田外務事務官

小林海軍次官

堀海軍省軍務局長

榎本海軍書記官

下村海軍大佐

岩村海軍大佐

藤田海軍中佐

報告員

伊東審査委員長

書記官長

二上書記官長

書記官

堀江書記官

武藤書記官

議長(倉富)

ル通り

千九百三十年「ロンドン」海軍條約御批准ノ
件

ヲ議題ニ供ス本案ハ先例ニ依リ讀會ヲ省略
シテ大體議ニ止メ朗讀ヲ省略シテ審査委員
長ノ報告ヲ求ム

報告員

(伊東)

今同御諮詢ノ千九百三十年「ロ
ンドン」海軍條約御批准ノ件ニ關シ本官等審査
委員タルノ命ヲ受クルヤ事態ノ關要甚々重

大ニシテ深ク考慮ヲ盡スヘキモノアルヲ今
ヒ去ル八月十八日以来屢次會同シ具ニ國務
大臣ノ辯明ヲ聽キ各員交所見ヲ述ヘテ反覆
審議ヲ重ネ苟モ之カ查覈ニ遺闕ナカラムコ
トヲ期シタリ
先ツ條約ノ由來ニ付テ述ヘムニ大正十一年
二月米國華盛頓ノ會議ニ於テ日英米佛伊ノ
五國間ニ成立シタル海軍軍備制限ニ關スル
條約ハ主力艦及航空母艦ニ付其ノ各國ノ保
有量單艦噸數及備砲ニ關スル制限ヲ協定シ

タルモ補助艦ニ付テハ單ニ其ノ單艦噸數及
搭載砲口徑ノ制限ヲ約束シタルニ止リ其ノ
各國ノ保有量ニ關シテハ何等協定スル所ナ
カリシニ由リ同會議後數年ナラスシテ早ク
モ主要海軍國間ニ補助艦ノ建造競爭漸ク著
カラムトスルノ傾向ヲ見ルニ至レリ此ノ時
ニ方リ國際聯盟ハ其ノ使命ニ從ヒ陸海空ノ
全般ニ亘リ軍備ノ縮少ヲ實現スル為頻リニ
努力スル所アリシモ其ノ討議ノ範圍頗ル廣
汎ニシテ各國意見ノ懸隔甚シク具體的結果

ニ到達スルコト極メテ困難ナリシニ由リ前
陳華盛頓會議ノ主催者タル米國政府ハ國際
聯盟ニ於ケル軍備縮少條約ノ成立ヲ待タス
主要海軍國間ニ補助艦ニ關スル制限ヲ協定
スルノ急務ナルヲ認メ昭和二年二月前述ノ
五國間ニ會議ヲ開催セムコトヲ提唱シタル
ニ佛伊兩國政府ハ之ヲ受諾セサリシ為同年
六月瑞西國「ジエネーヴ」ニ於テ日英米ノ三國
政府間ニ商議ヲ開始シタルモ八吋砲ヲ搭載
スヘキ巡洋艦ニ關シ英米兩國ノ主張ニ甚シ

キ經庭アリ爲ニ此ノ會議ハ遂ニ不調ニ終レ
リ然ルニ昭和四年ニ至リ右兩國ニ於テ一般
政情ノ變化ニ伴ヒ軍備ノ縮少ヲ實現スルノ
氣運急速ニ進展シ其ノ結果同年十月英國政
府ハ日米佛伊ノ各國政府ニ對シ前陳ノ華盛
頓條約ニ規定セラレサル艦種ニ關スル制限
ヲ考究シ併セテ同條約第二十一條第二項ノ
規定ヲ按シ技術上及科學上ノ最近ノ發達ニ
適應スル為同條約ノ條項ニ加フヘキ變更ヲ
審議スルノ目的ヲ以テ英國倫敦ニ會議ヲ開

催セムコトヲ提議シタリ日、英、佛、伊ノ四
國政府ハ乃チ之ニ賛同シ昭和五年一月五關
係國ノ代表者同地ニ會合シ約三月ニ互リテ
樽俎折衝ヲ重ネ迂餘曲折ヲ盡シテ稍ク協議
調ヒ千九百三十年「ロンドン」海軍條約ト稱ス
ル一條約ヲ協定シ同年四月二十二日各國全
權委員ニ於テ之カ署名調印ヲ了シタリ是レ
即チ本案ノ條約ナリ
本條約ハ前文及末文ノ外五編二十六條及第
二編ニ添附セル三附屬書ヨリ成リ第一編第

二編第四編及第五編ハ五國間ノ協定ニシテ第三
編ハ日、英、米三國間ノ協定ナリ其ノ内容ハ報
告書ニ詳述シタルヲ以テ爰ニ説明ヲ省略ス
本條約成立ノ經過ヲ顧ルニ倫敦會議ノ開催
ニ臨ミ帝國政府ハ既定ノ國防方針ニ基キ(一)
補助艦ノ總括噸數ハ對米比率七割(二)大巡洋艦
ノ噸數ハ對米比率七割(三)潛水艦ハ我カ現有量
七萬七千八百餘噸ヲ保有ス(キ)コトノ三大原則ヲ
定メ之カ主張ヲ貫徹ス(キ)コトヲ以テ全權委員
ニ訓令シ普ク國內ニ聲明スル所アサタルニ拘ラ

ス帝國全權委員ハ右會議ニ於テ折衝意ノ如クナラス終ニ讓歩ヲ餘儀ナクセラレタル結果稍ク米國ノ提案ニ基ク所謂假妥協案ヲ作成シ之ヲ以テ政府ニ請訓シ政府力大體ニ於テ之ヲ承認スル同訓ヲ為シタルニ因リ茲ニ該案ヲ骨子トスル本條約ノ成立ヲ見ルニ至リタルモノニシテ即チ本條約ニ依レハ帝國ハ補助艦總括保有量ニ於テ對米六割九分七厘五毛大巡洋艦保有量ニ於テ同六割二厘二毛ヲ協定シ潛水艦ニ於テ現在ノ約三分ノ一ノ二萬五千百餘噸ヲ減

シタル五萬二千七百噸ヲ保有セムトスルニ過キス是ニ於テ本條約ニ伴フ國防缺陷問題同訓當時ニ於ケル政府ノ措置等ニ關シ朝野ノ間ニ幾多ノ論議ヲ醸シ現ニ最近ノ第五十八回帝國議會ニ於テモ問題ト爲リ頗ル喧囂ヲ極メタリ此等ノ經緯ニ顧ミ本官等ハ特ニ慎重ナル態度ヲ以テ本案ノ審査ニ從事シ種々點ヨリ攷究スルコトヲ努メ回ヲ累ネテ當局大臣トノ間ニ質問應答ヲ盡シタリ今其ノ概要ヲ述フレハ次ノ如シ

一、從來御諮詢案件ニ關スル外交文書ニハ頗
々誤謬アリ本案ノ條約ニ付テモ原文中ニ
數多ノ誤寫アリタル爲内閣ニ於テ經伺ノ
上之カ訂正ノ手續ヲ了シタリ此ノ如キハ
畢竟事務取扱上ノ疎漏ニ出ツルモノニシ
テ頗ル遺憾トスヘキ所ナルヲ以テ此ノ點
ニ付當局大臣ノ所見ヲ質シタルニ當局大
臣ニ於テモ遺憾ノ意ヲ表シ將來注意ヲ加
ヘ努メテ過誤ナキヲ期スヘキ旨ヲ陳ヘ尚
伊太利全權委員ノ氏名ノ脱字ハ原本ノ誤

謬ニ由ルモノニシテ訂正スルコト能ハサ
ルヲ以テ其ノ儘之ヲ處理スルノ外ナカル
ヘシト附言セリ

二、本條約ノ調印ニ先チ我カ全權委員ヨリノ
請訓ニ對シ内閣ニ於テ同訓ヲ發スル際海
軍軍令部長ノ同意ヲ經タリヤ否ヤハ事單
ニ手續ニ屬スルカ如キ觀アレトモ國法上
極メテ重要ナル問題タリ然ルニ内閣ハ此
ノ手續ヲ經スシテ同訓ヲ發シタリト喧傳
セテレ海軍部内ノ紛議ヲ來シ曩日ノ帝國

議會ニ於テ所謂統帥權問題ナルモノヲ生
スルニ至レリ其ノ後海軍大臣ハ海軍兵力
ニ關スル事項ハ從來ノ慣行ニ依リ之ヲ處
理スヘク此ノ場合ニ於テハ海軍大臣海軍
軍令部長間ニ意見一致シアルヘキモノト
ノ允裁ヲ仰キ御裁可ノ後內閣總理大臣ニ
對シ之ヲ報告シ且今後共之ニ據ルヘキ旨
ノ照會ヲ爲シ內閣總理大臣ニ於テ之カ受
領ヲ回答シタルノ事實ハ海軍大臣ノ提示
シタル文書ニ依リテ明瞭ト爲レリ仍テ本

官等ハ此ノ問題ノ真相ヲ究明スルノ極メ
テ肝要ナルヲ念ヒ先ツ當時ノ海軍大臣事
務管理タリシ內閣總理大臣ハ兵力量ノ協
定ヲ其ノ内容トスル前陳同訓案ニ付初ヨ
リ軍令部長ノ同意アルヲ必要ト思惟シタ
ルカヲ質問シタルニ同大臣ハ從來ノ慣行
ヲ重シ兩者ノ間ニ意見ノ一致アルヲ必要
ト思惟シタル旨ヲ以テ答辯セリ續テ事實
果シテ此ノ兩者ノ間ニ意見ノ一致アリタリヤ
トノ質問ニ對シテハ軍令部長ハ當初我カ

三大原則ハ作戰計畫上最小限度ノ要求ナルカ故ニ此ノ要件ヲ充ササル米國案ヲ骨子トスル兵力量ニ對シテハ作戰用兵ノ責任者トシテ同意シ難キ旨ヲ主張シタルモ其ノ後ニ於ケル諸般ノ事情ニ照ストキハ同訓ニ際シ政府ノ處置ニ對シテハ結局同官ニ異議ナカリシモノト認メタリトノ答辯アリタリ然レトモ本官等ハ此ノ答辯ニ幾多ノ疑念ヲ抱キ親シク前軍令部長ノ陳述ヲ聽カムト欲シ内閣ニ對シ其ノ出席説

明ノ手續ヲ執ラムコトヲ要求シタルモ内閣ハ之ヲ拒絕セリ又本官等ハ此ノ問題ニ關スル議會ノ質問ニ對シ國務大臣ハ軍部ノ意見ヲ斟酌シ政府ニ於テ決定シタリト答辯シ故ラニ同意又ハ意見一致ト言ハサリシ理由如何ト質問シタルニ對シ内閣總理大臣ハ軍令部トノ關係ノ内容ハ議會ニ於テ詳説スルコト好マシカラスト思惟シタルカ為單ニ斟酌シタリト答ヘタル旨ヲ辯明セリ尚本條約ノ調印ニ臨ミ海軍大臣

タル財部全權委員ハ條約案ノ内容ニ付海
軍軍令部長ニ異議アリト思惟セサリシヤ
トノ質問ニ對シ海軍大臣ハ當時海軍軍人
ニ若干ノ不滿アリタルコトハ之ヲ知レル
モ彼等ト雖會議ノ決裂ヲ賭シテ迄モ反對
スルモノニ非サルヘシト思惟シタリト答
辯セリ依テ然ラハ何故ニ軍令部長ノ意思
ヲ確ムルノ舉措ニ出テサリシカト反問シ
タルニ同大臣ハ政府ニハ海軍大臣事務管
理ノ存スルアリ自分ハ唯全權委員ノ一人

トシテ政府ノ訓令ニ從ヒ調印シタルノミ
加之同訓當時受領セル軍令部長發ノ電報
ニ由リ寧ロ同部長ハ同訓案ニ同意セルモ
ノト解シタル旨ヲ以テ答辯セリ

三、政府カ我カ國防ニ要スル一部兵力量ノ最
小限度ト主張セル所謂三大原則ニ適合セ
サル妥協案ヲ承認シタル事情ニ關シ政府
ハ固ヨリ該案ノ其ノ意ニ滿タサル廉アル
ヲ認ムルモ前來交渉ノ經過ニ徴シ他ニ適
當ナル協定ヲ得ルノ見込ナク萬一會議決

裂ノ場合其ノ帝國ノ國際的立場ニ及ホス
影響ノ容易ナラサルコト及造艦競争ニ因
ル帝國財政經濟上ノ苦難ノ甚シカルヘキ
コト等ニ想到シ卽チ國家ノ大局ヨリ見テ
之ヲ承認スルノ外ナキモノト思惟シタル
旨ヲ辯明セリ然レハ本條約ニ依ル兵力量
ヲ以テシテ帝國國防ノ安全ヲ期スルコト
ヲ得ルヤ否ヤ之ヲ當局大臣ニ質問シタル
ニ當局大臣ハ右兵力量ヲ以テシテハ從來
ノ國防方針ニ基ク作戰計畫ノ維持遂行上

或ハ困難アラムモ一面ニ輕巡洋艦及驅逐
艦ニ於テ豫期以上ノ保有量ヲ獲得セルア
リ更ニ他面ニハ代換建造ノ權利ヲ適當ニ
實行スルノ外例ヘハ既製艦船ノ整備裝備
ノ改善制限外艦船ノ整備航空機ノ擴張等
所謂内容ノ充實ヲ圖リ且兵員ノ訓練教養
ノ改善乘組定員ノ増加等所謂術力ノ向上
ニ努ムルニ於テハ略國防ノ安全ヲ期スルコ
トヲ得ヘシト信ス殊ニ本條約ノ有効期間
ハ僅ニ五六年ノ短日月ニ過キス而モ帝國

ノ主張ニ依リ次回ノ會議ニ於テハ本條約
ノ規定ニ拘束セラルコトナク全ク自由
ノ立場ニ於テ討議シ得ル趣旨ノ規定ヲ本
條約第二十三條但書ニ設ケシメタルヲ以
テ本條約ニ付多少不滿ノ點アリトスルモ
將來ニ於テ困難ナカラ之ヲ補正シ得ルノ
途ナキニ非スト答辯セリ

四、本條約ノ規定ニ依リ米國カ大巡洋艦十八
隻ヲ保有スルコトトセハ千九百三十六年
後二三年ノ間大巡洋艦ニ於テ帝國ノ對米

比率ハ著シク遞減シテ我方國防上最モ不
安ヲ來スヘシ殊ニ恰モ其ノ際支那問題ニ
關シ日米間ニ事端ヲ發生スルノ虞アルヘ
シトノ說ナキニ非ス本官等ハ此ノ點ヲ憂
慮シ當局ノ所見ヲ質シタルニ當局大臣ハ
本條約滿期直後ニ備フル為ニハ規定ノ許
ス範圍内ニ於テ豫メ準備ヲ整ヘ且滿期後
新艦ノ建造ヲ促進スルニ於テハ艦ヲ比率
ヲ増嵩セシムルコトヲ得ヘク其ノ間ニ於
テ米國カ帝國ニ對シテ事ヲ構フルノ虞ア

ルモノトハ思考セラレス殊ニ本條約ノ締結ニ因リ國交一層圓滿ト爲ルヘキヲ以テ戰爭ノ憂ナカルヘシト辯明セリ
五當局ハ本條約ニ依ル兵力量ノ不足ヲ次回會議ノ結果ニ依リ補充シ得ルカ如クニ説明スト雖帝國ハ既ニ一タヒ華盛頓會議ニ於テ主力艦ノ保有量ニ付對米七割ヲ要求シテ容レラレスニタヒ今次ノ倫敦會議ニ於テ大巡洋艦ノ保有量ニ付七割及潛水艦ノ現有量維持ヲ要求シテ亦失敗ニ終レリ

此ノ如クニシテ次回ノ會議ニ臨マハ益同様ノ主張ヲ貫徹スルニ困難ヲ来スヘキハ之ヲ想像スルニ難カラス殊ニ本條約第二十三條但書ハ法理上全然無意味ノ規定ナルカ如キノミナラス同條ノ本文ニ依レハ千九百三十五年ノ會議ノ開催ハ軍備制限縮小ノ漸進的實現ヲ遂行スル爲新條約ヲ作成スルニ在ルヲ以テ軍備擴張ト認メラルルカ如キ右ノ主張殊ニ潛水艦ノ保有量ヲ増大スルノ要求ハ同條ノ精神ニ反スト

セラレ之ヲ貫徹スルコト能ハサルノ虞ナ
キヤ仍テ此ノ點ニ關スル不審ヲ質シタル
ニ當局大臣ハ次回ノ會議ニ於テ帝國ハ必
シモ從前ノ三大原則ヲ主張セサルヘカラ
サルニ非ス今後數年間ニ於ケル諸般事情
ノ變化ヲ斟酌シ最善ノ方策ヲ立テテ之カ
主張ノ貫徹ニ努力スヘク又假ニ所謂三大
原則ノ主張ヲ繰返ストスルモ補助艦ノ總
噸數及建造費額ニ於テ本條約ニ依ルモノ
ヲ超過セサルヘキニ由リ之ヲ以テ直ニ軍

備擴張ト目スヘキニ非スト答辯セリ

六、本條約ニ依ル兵力量ニハ缺陷アルヲ以テ
適當ナル補充計畫ヲ立ツルニ非サレハ我
カ國防ノ安全ヲ期シ得サルヘキコトハ政
府ノ自ラ認ムル所ナリ然ラハ右補充計畫
ノ成否如何之ニ要スル費額如何本條約ニ
因テ生スヘキ剩餘金如何竝國民負擔輕減
ノ有無及其ノ程度如何ノ問題ハ本條約ノ
目的ヲ達成シ得ルヤ否ヤヲ判斷スル上ニ
於テ極メテ重要ノ事項ニ屬シ正ニ審査ノ

要目タルニ由リ其ノ大綱ノ提示ヲ要求シ
タリ然ルニ之ニ對スル當局大臣ノ辯明ハ
國防補充計畫ハ尙海軍軍令部ニ於テ調査
中ニ係ルヲ以テ該調査完了シ海軍省トノ
間ニ意見一致シタル後更ニ關係省間ニ協
議ヲ累ヌルニ非サレハ之ヲ明確ナラシム
ルコト能ハサルカ故ニ其ノ確定時期ハ早
クトモ今秋豫算編成ヲ了スルノ頃ナルヘ
シ但當局トシテハ右條約實施ノ結果財政
上相當ノ餘裕ヲ生スヘキヲ以テ其ノ一部

ハ之ヲ國防ノ缺陷補充ニ充テ他ノ一部ハ
之ヲ國民負擔ノ輕減ニ充ツルノ方針ナル
コトヲ茲ニ責任ヲ以テ言明スヘシ而シテ
海軍ノ既定計畫トシテ昭和五年度ヨリ同
十一年度迄ノ財政計畫ニ留保シタル金額
總計約五億圓ヲ假ニ基礎トシテ考フルト
キハ本條約ニ依ル代換建造ノ權利ヲ全部
行フモ尚若干ノ剩餘金ヲ生スヘキヲ以テ
之ヲ適當ニ國防補充費ト減税トニ安排ス
ルノ胸算ナリト謂フニ在リ

機密

質問應答ノ大要右ノ如シ之ヲ要スルニ本案
ノ條約ハ華盛頓條約ヲ訂補シ益海軍軍備制
限ノ目的ヲ達成スル爲各種ノ艦船ニ關シ諸
般ノ制限ヲ協定セムトスルモノナリ抑國防
ノ安危ハ國家興亡ノ繫ル所ナリ故ニ條約ヲ
以テ軍備ノ制限ヲ約諾スルカ如キハ最モ慎
重ナル考慮ヲ要スルノ事項タリ由來我國軍
事ニ關シテハ軍政ト軍令トヲ區別シ各別異
ノ機關ヲ設ケテ之ニ關スル大權行動ノ輔翼
ニ協力セシムルモノ洵ニ以ナキニ非サルナ

リ然ルニ今回本條約調印ノ際内閣ノ執リタ
ル回訓決定ノ手續ニ關シ海軍部内ニ紛議ヲ
生シ惹テ世間ニ物議ヲ醸スニ至リタルハ洵
ニ遺憾トスヘキ所ナルモ内閣ニ於テ右回訓
決定ノ際軍令部長ニ異議ナカリシモノト認
メタリトノ答辯アリタルノミナラス尚海軍
大臣ヨリ海軍ノ兵力ニ關スル事項ノ決定ハ
海軍大臣海軍軍令部長間ノ意見一致ヲ要件
トスルコトノ勅裁ヲ仰キ御裁可後内閣總理
大臣ニ報告シ今後共之ニ據ルヘキ旨ノ照會

ヲ爲シ同大臣ヨリ受領ノ回答ヲ得タルヲ以
テ今ヤ所謂統帥權問題ナルモノハ更ニ討究
スルノ必要ナキニ至レリ是レ本官等ノ頗ル
欣幸トスル所ナリ更ニ本條約ノ目的ヲ見ル
ニ其ノ世界ノ平和ヲ念トシ競爭的軍備ニ伴
フ危險ヲ防止シ且負擔ノ輕減ヲ圖ラムトス
ル趣旨ニ於テハ勿論何人ト雖之カ賛同ヲ吝
ムヘキニ非ズ唯帝國ノ關スル限リ本條約所
定ノ兵力量ニ由リ果シテ能ク國防ニ缺陷ヲ
生スルコトナクシテ右ノ目的ヲ達成スルコ

トヲ得ヘキヤ否ヤ是レ本案條約ノ可否ヲ判定
スルニ最モ重要ナル論點ナルカ故ニ本官等
ハ之ニ關シ特ニ縝密ナル調査ヲ試ミタリ然
ルニ當局大臣ハ本條約所定ノ兵力量ニ於テ
ハ缺陷アルコトヲ認ムルモ之カ補充ノ方法
ヲ講スルニ由リテ略國防ノ安全ヲ期シ得ヘ
シト爲シ其ノ補充計畫ニ至リテハ未タ調査
完了セサルノ故ヲ以テ其ノ大綱要目ヲモ示
サズ從テ之ニ要スル費額及減稅額ノ見込ニ
付テモ亦多ク説明ヲ與ヘズ唯政府ノ責任ヲ

以テ國防ノ缺陷ヲ補充シ且相當ノ減税ヲ行
フヘキ旨ヲ言明セリ然レトモ本官等ハ國防
ノ補充計畫ハ本来國務大臣ト軍令機關トノ
合意ニ由リテ立案セラルヘキモノニシテ獨
リ國務大臣ノ責任ニ於テ言明シ得ヘキモノ
ニ非サルカ故ニ該問題ニ付テハ寧口帷幄機
關ノ意見ハ本官等ノ判斷ヲ下スニ有力ナル
資料ト爲ルヘキヲ思ヒ何等カノ方法ニ依リ
テ之カ意見ヲ聽カムコトヲ切望シ最後ニ軍
事參議院ノ奉答文ヲ呈示スルノ手續ヲ執ラ

ムコトヲ國務大臣ニ請求シタルニ大臣ハ之
ヲ拒絕セリ元來外務大臣ノ説明ニ依レハ本
條約ハ米國ニ於テ既ニ之カ批准ノ手續ヲ了
シタルモ英國ノ批准ハ愛蘭ニ關シ本年十一
月以後ニ到ラサレハ完了セサルカ故ニ假ニ
帝國カ今日之ヲ批准スルモ直ニ其ノ效力ヲ
發生セサルヘキヲ以テ本官等ハ本條約締結
ノ結果カ帝國ノ利害ニ及ホス影響ノ甚大ナル
ニ誓ヘ暫ク假スニ時日ヲ以テシ前述ノ國防
補充計畫等ニ付當局ノ調査略完了スルヲ俟

テ徐ニ審議ヲ進ムルノ寧ロ妥當ナルヲ思ヒ
之ヲ當局大臣ニ提議シタルモ之亦其ノ同意
スル所ト爲ラス斯ノ如キハ潛思疑慮ヲ任ト
スル本官等ノ甚々遺憾トスル所ナルモ國務
大臣ノ説明スル所ニ依レハ近時國內ノ情勢
大ニ憂慮スヘキモノ現レ本條約批准ノ成否
永ク未定ナルトキハ政治上經濟上不安ヲ惹
起シテ社會ニ及ホス影響多大ナルヘキヲ高
唱セラレタルカ故ニ本官等ハ今日ノ場合此ノ
問題ニ付テハ如上審査ノ程度ニ於テ結局當

局ノ言責ニ倚賴シテ決議ヲ爲スノ外ナキモ
ノト斷定スルニ至レリ其ノ他本條約ノ條項
ニ關シテハ大體ニ於テ支障ノ廉ナシト認ム
ルヲ以テ此ノ際本條約ヲ承認スルノ最終ノ
決定ヲ與ヘラルコト蓋シ已ムヲ得サル所
ナリト思料ス仍テ審査委員會ニ於テハ本院
ハ國務大臣カ軍部ト協調ヲ整ヘ國防ノ補充
計畫ヲ遂行シ且國民負擔ノ輕減ヲ實行シテ
本條約ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナキヲ期ス
トノ言責ニ信賴シテ本件ヲ可決スヘキモノ

ト全會一致ヲ以テ議決シタリ
右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

四番(濱口) 本日ノ議題タル「ロンドン」海軍條約

御批准ノ件ニ對シ此ノ場合簡單ニ政府ノ所
見ヲ申述フヘシ今回ノ「ロンドン」海軍條約ハ
唯今委員長ヨリ御報告アリタル通世界ノ平
和ヲ念トシテ競爭的軍備ニ伴フ危險ヲ防止シ
且國民負擔ノ輕減ヲ圖ル趣旨ニ出テタルモ
ノニシテ日英米佛伊五ヶ國代表者ノ署名調
印セルモノナルカ其ノ中日英米三國ノ關ス

ル限リハ曩ニ「ワシントン」會議及「ジュネーヴ」
會議ニ於テ實現ヲ見ルニ至ラサリシ補助艦
ノ制限ヲ協定スルニ成功シ各艦種ニ互ツテ
制限ヲ實行スルコトヲ得ルニ至レルモノナ
リ元來補助艦保有量制限ニ關スル協定ハ主
力艦ノ協定ニ比シ一層複雑ナル問題ヲ含ミ
今回ノ「ロンドン」會議ニ於テモ之カ論議ニ幾
多ノ迂餘曲折アリ終ニ佛伊ノ參加ヲ見ルコ
トヲ得サリシモ日英米三國ハ大局ヨリ考察
シテ互讓妥協以テ其ノ成立ヲ見タル次第ナ

リ仍テ今回ノ條約中補助艦保有量ニ關スル
協定ノ結果ハ我カ要求ノ全部ニ満足ヲ與フ
ルニ至ラス卽チ我カ既定ノ國防方針ニ基キ
案畫セラレタル現作戰計畫ノ維持遂行ニハ
兵力量ノ不足ヲ生スルモノナルモ此ノ缺陷
ハ別ニ適當ナル補充ノ途ヲ講シテ國防上ニ
支障ヲ生セシメサルコトヲ得ルモノナルコ
トハ軍部ノ専門的意見モ亦一致セル所ナリ
其ノ補充計畫ハ目下當局ニ於テ慎重攷究中
ニ屬シテ未タ之カ具體的數字ヲ示スコトヲ

得ル場合ニ至ラスト雖要スルニ内容ノ充實
及術力ノ向上ヲ主眼トスルモノニシテ其ノ
大綱要目ハ審査委員會ニ於テ海軍大臣ヨリ
説明シタル所ノ如シ而シテ海軍ノ既定計畫
トシテ昭和六年度ヨリ同十一年度迄ノ財政
計畫ニ留保シアリタル金額ハ總計約五億圓十
ルカ故ニ之ヲ以テ本條約ニ依ル代換建造及
前述兵力量ノ補充ニ要スル經費ト國民負擔
ノ輕減トニ適宜按配セムトス本條約ニ對シ
御承知ノ通米國ハ既ニ批准ヲ了シ英帝國ニ

於テモ全英聯盟各邦ノ大部分ハ批准ヲ了シ
若ハ其ノ準備完了シ唯アイルランドニ關シ
テハ其ノ批准手續ハ本年十一月同國通常議
會ノ開會ヲ待ツヘキヤ又ハ之ヨリモ早ク批
准ヲ了シ得ヘキ便法アリヤ未タ何レトモ確
報ニ接セスト雖結局其ノ批准ニ故障ヲ生ス
ルモノトハ想像シ得ラレヌ又此ノ審査報告
中國務大臣ノ答辯トシテ掲ケラレタル部分
ニハ我々ノ説明ノ趣旨充分ニ徹底シ居ラサ
ル箇所アルヤニ考ヘラルルモ事煩瑣ニ互ル

嫌アルヲ以テ茲ニ一々之ヲ指摘セヌ之ヲ要
スルニ此ノ際政府トシテハ内外ノ情勢ニ暫
ヘ速ニ本案ノ可決セラレムコトヲ望ム次第
ナリ

三十六番(石井) 今回御諮詢ノ「ロンドン」海軍條
約ニ付余ハ去ル八月十五日其ノ關係書類ヲ
受領セリ是ヨリ先議長ヨリ審査委員ヲ指定
セラレ右書類ハ多分委員ト同時ニ配付セラ
レタルコトト思料ス是レ固ヨリ當然ノ事ナ
ルモ從來ノ取扱ハ必シモ然ラス故ニ余ハ曾テ御諮詢ヲ蒙

ル者ハ顧問官全般ナルヲ以テ御諮詢アラハ
直ニ其ノ全員カ書類拜見ノ義務アリ即チ成
ルヘク速ニ書類ヲ配付セラレタシトノ意見
ヲ述ヘタルコトアリ今回ノ書類配付ハ此ノ
見地ヨリ見テ樞密院ノ議事ノ一改善ナルヲ
思ヒ満足ノ意ヲ表ス更ニ隴ヲ得テ蜀ヲ望ム
ノ感アレトモ茲ニ議長ニ希望スヘキ一事ア
リ余ノ本件書類ヲ受取りタルハ前述ノ如ク
八月十五日ナルカ其ノ御諮詢アリタルハ七
月二十四日ナレハ其ノ間ニ既ニ三週間ヲ經

過セルモノナリ此ノ重大案件ノ御諮詢アリ
タルニ對シ樞密院ハ何ヲ為シ居タルカ天下
囂々トシテ不審ノ聲ヲ放チ余モ亦不審ニ思
ヒタル一人ナリキ此ノ間ニ於テ新聞紙及各
方面ヨリノ報道ニ依レハ議長ハ本件御下付
後十日ヲ經タル八月五六日頃内閣總理大臣
ニ對シ軍事參議院ノ奉答文ノ提示ヲ求メタ
ルニ總理大臣ハ之ヲ拒絶セリトノコトナル
カ其ノ後尚一週間ヲ經テ委員會組織セラレ
此ノ如クシテ前後三週間ハ顧問官トシテハ

御諮詢ヲ蒙リ乍ラ其ノ案ノ内容ヲ知ル能ハ
サルナリ余ハ此ノ如キ重大案件ニ付御諮詢
ヲ蒙リタル以上ハ直ニ議案ヲ配付シ成ル一
ク速ニ審査委員會ヲ開クヘキモノニシテ當
局ニ對シ請求スヘキモノアラハ顧問官相談
ノ上之ヲ請求スルヲ可ト信ス余ハ既往ニ遡
リテ議長ノ行動ヲ非難セムトスル者ニ非ズ只
天皇ノ至高顧問府タル本院ノ權威ヲ高ムル
為將來ニ向テ議長ノ御注意ヲ望ム次第ナリ
此ノ點ニ付議長ヨリ御辯明アラハ承ラム

議長(倉富)

只今三十六番ヨリ書類配付ニ付希

望御申出アリタルカ本官ヨリ更メテ言フ迄
モナク樞密院事務規程第七條ニ審査報告書
ハ附屬文書ト共ニ其ノ會議ヲ開ク日ヨリ少
クモ三日以前ニ之ヲ各員ニ配付スヘシトア
リ從來此ノ規定ニ依リ報告書提出後三日以
前ニ配付セリ乍併此ノ規定ハ絶対的ノモノ
トハ考ヘス場合ニ依リ實際ノ便宜上審査終
了前ニ配付スルモ違法トハ思ハス又議案浩
瀚ナル場合等ニ前以テ配付シタル事例アリ

本件ニ付テモ亦然リ而シテ此ノ事タル獨リ
本院ノミノ都合ニ依ルヘキニ非ス政府トノ
關係ヲモ考慮スルノ必要アルヲ以テ今回モ
政府當局ト打合セタル上ニテ右ノ變則ノ取
扱ヲ為シタルナリ故ニ今後必シモ毎ニ今回
ノ如キ取扱ヲ為スモノトハ限ラス又三十六
番ハ本官カ軍事參議院ノ奉答文ヲ求ムル為
ニ審査ヲ遲ラシタルカ如ク述ヘラレタルモ
右ハ事實ニ相違セリ本官ハ該文書ノ提示ヲ
要求シタルニ非スシテ勸告シタルノミ又夫

カ為ニ審査ヲ遲延セシメタルニ非ス委員長
報告ニ在ル通り兎角議案ノ文書ニ誤謬アリ
今回モ之カ訂正ニ付政府ニ於テ經伺ノ手續
ヲ履ミタル為十餘日ヲ經過セリ此等ハ審査
ニ當リ必要ナル手續ニシテ又審査終了ヲ待
テ配付スルヲ常例トスルコトハ前陳
ノ如クナレハ三十六番ノ御説ハ當
ラス

三十六番(石井)書類ノ配付ニ關スル樞密院事
務規程ノ規定ハ余モ亦之ヲ知レリ但シ同規

定ニハ報告書ト共ニトアリテ報告書ト同時
ニトハナシ且常識ヨリ見ルモ豫メ配付シテ
不可ナル筈ナシ而シテ今回議長カ配付ノ時
期ヲ早メテレタルニ由リ今後モ此ノ例ニ依
ラレムコトヲ希望シタルノミ余ハ既往ノ事
ヲ言ハス將來ニ付テ言ヘルナリ然ルニ只今
ノ御辨明ニ依レハ將來ト雖重大案件ニ付テ
ハ文書ヲ綿密ニ調査スル為數週間ヲ延スヤ
モ知レストノコトナルカ余ハ將來ニ付憂慮
ナキ能ハス宜シク案件御下付後直ニ委員會

ヲ設ケ之ヲシテ調査セシムヘク然ラハ顧問
官ト政府當局者ト共ニ調ヘテ訂正スヘキモ
ノハ訂正スヘキナリ先ツ書記官長及其ノ補
助者ヲシテ幾日カヲ議案ノ調査ニ費サシメ
誤植ノ訂正ヲ了シタル後ニ非サレハ配付セ
スト謂フカ如キハ事鄭重ニ過キ取扱上適當
ナリト謂フヘカラス然レトモ此ノ問題ニ付
テハ最早此ノ上言議ヲ費ササルヘシ唯余ハ
樞密院ノ將來ノ為ヲ思ヒ茲ニ微衷ヲ述ヘタ
ルモ意見徹底セサリシコトヲ遺憾トス

之ヨリ政府ニ對シテ問ハム先ツ所謂三大原則ニ關シ報告書ニ帝國政府ハ既定ノ國防方針ニ基キ、、、三大原則ヲ定メトアルニ依リテ見レハ三大原則ハ今回ノ「ロンドン」會議ニ臨ミ定メテレタルモノノ如シ故ニ該原則ハ我カ全權委員ニ對スル訓令中ニモ勿論掲ケラレタルモノナルヘシ然ルニ海軍大臣以下海軍官憲ハ此ノ會議前ニ於テ大ニ右三大原則ヲ高調シ之ヲ以テ我カ國防ノ最低限度ト為シ之ヲ缺クトキハ國防危シト公衆ヲ教

育セラレタルカ如シ故ニ専門智識ナキ社會一般ハ之ヲ信シ若シ聊タリトモ該原則ニ缺クルコトアラムカ戰爭必敗ナルヘシトテ大ニ憂慮シ余モ亦之ヲ憂慮シタル一人ナリ然ルニ報告書ニ依レハ次回ノ會議ニ於テハ必シモ該原則ヲ以テ臨ムヘシトハ限ラストノコトナルカ故ニ安心ナルモ世間カ米國ヲ恐ルル原因ハ畢竟此ノ原則ニ在ルヲ以テ茲ニ之ヲ明瞭ナラシムルノ必要アリ仍テ考フルニ此ノ三大原則ハ前ノ「ジュネーヴ」會議ノ際

ニハ之ナカリシカ如シ故ニ同會議ニ於テ日本全權委員カ英米全權委員ニ提議シタル所ヲ簡單ニ一言セムニ同會議ニ際シ日本全權委員カ受ケタル訓令中ニハ今同ノ如キ三大原則ハ示サレサリキ然ルニ會議ニ於テハ米國ハ英國トノ均勢ヲ欲シ英國ハ其ノ特殊地位ニ鑑ミ多數ノ巡洋艦ヲ要スルニ由リ補助艦總噸數六十二萬噸ヲ必要トスト主張シ日本ノ保有量ヲ引下ケムトシ談判紛糾シタルヲ以テ日本側ハ已ムヲ得ス英米ノ水上補助

艦ヲ四十七八萬噸ニ迄引下ケヨ之ニ對シ日本ハ三十一萬噸迄引下クルノ用意アリト提議セリ之ニ對シ米國側ハ主義トシテ同意シタルモ英國側ハ同意セス仍テ日本ノ小林中將米國ノ「ブイールド」ト研究ノ結果一妥協案ヲ作りタルモ終ニ會議ノ協定ヲ見ルニ至ラス而シテ潛水艦ニ付テハ日英米各六萬噸トストノコトナリキ而シテ今回ノロンドン會議ノ成果ハ右「ジュネーヴ」會議ニ於ケル日本ノ提議ニ近似セルニ非スヤ然ルニ世間ニハ

本條約ニ依リ日本ハ英米ヨリ無理ナル比率
ヲ強ヒラレタリトテ不満ヲ唱フル者多キヲ
遺憾トス海軍當局ハ宜シク今回ノ協定成立
ニ付何等英米ノ壓迫ナカリシコトヲ國民ニ
周知セシムヘカリシナリ
次ニ所謂三大原則ハ何時ヨリ始マリタルモ
ノナルヤ昭和二年頃ニハ未タ之ナカリシカ
如シ現ニジユネーヴ會議ノ際例ヘハ潛水艦
ニ付テモ我カ軍事當局ハ我カ保有量トシテ
六萬噸ヲ以テ差支ナシト認メタルニ非スヤ

其ノ後三年間ニ於テ國際關係惡化シタリト
モ覺エス却テ不戰條約成立シ平和關係ニ一
歩ヲ進メタルモノト謂ハサルヘカラス然ル
ニ今回ノ會議ニ於テ我カ當局ハ右ノ潛水艦
保有量六萬噸ノ上ニ更ニ一萬八千噸ヲ増加
シタル七萬八千噸ヲ必要ナリトシテ要求シ
タル理由不可解ナリ故ニ余ハ此ノ三大原則
ニ付テ惑ヲ抱クナリ又國防補充計畫ニ付テ
ハ委員會報告書中ニモ總理大臣ノ説明中ニ
モ適當ナル補充方法アルカ如ク述ヘラレタ

ルモ何ヲカ適當ト言フ惟フニ潛水艦保有量
ニ付帝國ハ昭和二年ニ於テ六萬噸ヲ主張シ
今同已ムヲ得ス五萬二千噸ヲ承認シタルコ
トナレハ其ノ差七八千噸ハ論理上我カ國防
ノ缺陷ト謂ヒ得ヘシ往年米國ハ潛水艦ニ付
テモ五五三ノ比率ヲ主張シタルニ今同ハ均
等ヲ承認シタルヲ以テ見レハ彼モ讓歩シタ
ルモノト見ルヘク其ノ他水上補助艦ニ付テ
ハ英米今同ノ提案ハ先年我カ提議シタル所
ノモノニ近似セリ故ニ余ハ我カ國防補充計

畫ニ要スル經費ハ七千三百萬圓ヲ以テ足ルヘ
ク保留財源五億圓中ヨリ之ヲ差引キ其ノ殘
額ハ凡テ國民負擔ノ輕減ニ充ツルコト適當
ナルノミナラス我カ海軍從來ノ主張ト一致
スルモノト思惟ス要スルニ三大原則ハ何時
出来既定ノ國防方針トシテ不可動的ノモノ
ト為リタルカ又國防補充計畫ニ關シ具體案
ヲ望マサルモ主義程度ニ付海軍側ノ御説明
ヲ望ム
以上ノ質問希望ヲ外ニシ今同ノ條約ハ各國

ヨリ何等壓迫ヲ受ケタルモノニ非ス今同ノ
英米ノ提案ハ我國カ三年前ニ提議シタル所
ニ係リ我ニ於テ當然受諾スヘキモノナルカ
故ニ余ハ之ニ賛成ス而シテ委員長報告ノ末
段ニ於ケル本院ハ國務大臣ノ言責ニ信賴シ
テ本件ヲ可決ストノ結論ニモ全然同意ヲ表
スルモノナリ

五番(財部)

御質問ノ第一ハ三大原則ナルモノ
ハ昭和二年「ジュネーヴ」會議ノ際ハ之ナカリ
シカ其ノ後何時出来タルカト謂フニ在ルカ

如シ無論「ジュネーヴ」會議ノ時ニハ三大原則
ナルモノハナク今回ト雖正確ニ言ハハ之ヲ
明白ニ掲ケテ全權ニ訓令シ又或形式ヲ以テ
聲明シタルコトナシ然ラハ何故世上ニ喧傳
セラルルニ至リタルカ抑「ワシントン」會議ニ
於テ帝國海軍ノ兵力ハ最モ顧念スヘキ假想
敵國ノ七割ヲ要スルモノト見テ主力艦ノ保
有量ニ付此ノ率ヲ保持セムトシタルモ結局
之ニ達セスシテ六割ニ落著シ所謂西太平洋
防備ノ現状維持ヲ條件トシテ五五三ノ比率

ト為レリ「ジエネーヴ」會議ニ於テモ大體補助艦ノ保有量ニ付七割ヲ目途トシタルモ其ハ總括的七割ニ止リ其ノ内容噸數ノ詳細ニ亘ラサリシモ潛水艦ニ付テ言ハハ日本ノ主張ハ七萬噸ニシテ即チ今回ノ七萬八千噸ト同一ニ歸著ス其ノ故ハ「ジエネーヴ」會議當時ニ於テハ八百噸以下ノ潛水艦ハ無制限ナリシヲ以テ我カ八百噸以下ノ潛水艦ヲ算入セサリシヲ以テナリ要スルニ日本ノ現有勢力ヲ維持セムトスルノ主張ナリシナリ然ラハ日

英專門委員間ノ暫定妥協案ニ於テ六萬噸均勢ト定メラレタルニ付我カ海軍中央部ニ於テ反對ナカリシカト言フニ大ニ反對論アリタリ當時ハ八吋巡洋艦ニ付テハ七割以上ヲ獲タルモ總括七割ニ達セサルノ故ヲ以テ非難論議セラレタリ故ニ今回「ロンドン」會議ニ臨ムニ當リテモ我カ海軍ノ主張ハ同シク現有勢力ノ保持ヲ必要トスルニ在リタリ尤モ八吋巡洋艦ニ付テハ「ジエネーヴ」會議當時ニ於テハ各國共今日

ノ如ク之ニ重ヲ置カス從テ日本ノ保有量ハ比較的有利ニ認メラレタル程ナルカ今日新造ノモノノ戰鬥力優越ナルコト認メラルルニ至リタル結果日本モ七割ヲ要求シタル次第ナルモ之トテ今回俄ニ作リタル方針ニハ非ス而シテ所謂既定ノ方針トハ大正十二年ニ定マリタル國防方針ニ基ク作戰計畫ノ遂行上必要ナル兵力量ニ付テ謂フナリ故ニ先ツ總括七割八割巡洋艦七割及潛水艦現有勢力ノ三者

カ訓令セラレタルナリ其ノ何レカ重要ナルカヲ言ハス又公文書中ニモ三大原則トハ言ハス唯此ノ三者カ要求ノ主要ナル點ナルカ故ニ人呼テ三大原則トハ謂フナリ固ヨリ海軍トシテハ之ニ重ヲ置キタリ而シテ石井顧問官御説ノ如クワシントン會議ニ於テ主力艦七割ノ要求成ラスシテ六割ト為リ又「ジエネーグ」會議ノ時日英暫定妥協案ニ於テ補助艦六割ト為リタルコトナレハ今回モ多年所究ヲ重ネタル海軍部内ニ於テモ我カ七割ノ

要求ヲ貫徹スルコトノ困難ナルヲ知リ會議
ニ臨ムニ當リ従前ノ經驗ニ鑑ミ始テ三大原
則ヲ以テ全權委員ニ訓令シ背水ノ陣ヲ布ク
ト共ニ全力ヲ擧ケテ朝野ノ諒解ヲ得ルニ努
ムル所アリタリ之カ為壯年ノ士官等諸方ニ
出張講演シテ大ニ三大原則ヲ高調シ中ニハ
之ヲ得サレハ國亡フヘシト云フカ如キ極端
ナル言論ヲ為シタル者アリタルカ如シ而モ是レ
皆國ヲ憂フルノ至誠ニ出テタルコトニシテ
其ノ結果國論能ク一致シ會議ニ於ケル總括

的七割ノ成果ノ如キ亦之ニ負フ所アルモノト
思料セラル石井顧問官ハ軍部ニ於テ曩ニ三
大原則ヲ高調シタルカ如ク今日此ノ會議ノ
結果ニ付更ニ國民ノ諒解ヲ得ルニ努メサル
コトヲ以テ不滿トセラルルカ如キモ物ニハ
自ラ必要ノ程度アリ前ニ會議ニ臨ミタル時
ト今日トハ場合ヲ異ニス況ヤ次同ノ會議ノ
事ヲ考慮スルニ於テヤ次同ノ會議ニ於テ
ハ其ノ時ニ於テ必要トスル所ヲ以テ今回以
上ニ精査シ最善ノ方法ニ向テ努力ヲ為スヘ

キモ凡ソ或時ノ主張カ必シモ永久ノモノト
ハ限ラス現ニ米國ノ如キモ或時ニハ潛水艦
ノ必要ヲ唱ヘ或時ニハ之カ全廢說ヲ唱フルカ
如キ狀況ニシテ十年前ト今日トハ軍備ニ變
化ヲ來セルコトモアルヲ以テ時宜ニ應シ主
張ニ變化ヲ來スコトアルヘキハ亦當然ノ事
ナリ尚補充費用及國民負擔ノ問題ニ關シテ
ハ總理大臣ヨリ答辯セラルル所アラム

四番(濱口)

國防補充計畫及國民負擔輕減ノ問

題ニ付テハ委員會報告書ヲ以テ委員會ニ於

テ述ヘタル政府ノ所信ヲ詳シク述ヘラレ又
結論モ良ク書カレタルニ因リ茲ニ更メテ述
フルノ要ナカルヘシ又石井顧問官モ強テ説
明ヲ求メラルルニ非サルヘシ要スルニ補充
計畫モ負擔輕減モ今日尚當局ニ於テ熱心攷
究中ニ屬シ未タ具體的數字ヲ述ヘ得ル程度
ニ至ラス而シテ補充計畫ノ要目ハ海軍大臣
カ委員會ニ於テ述ヘタル所ヲ報告書中ニ引
用セラレタル通ニシテ夫以上ノコトハ不明
ニシテ今秋豫算編成後ニ非サレハ確定セズ

附
録
附
録
附
録

不確實ノ事ヲ述フルヲ欲セサルヲ以テ今ハ
此ノ程度ノ説明ニ止ムルノ外ナシ
三十六番(石井) 本官ハ敢テ政府ニ對シ具體的
計畫又ハ數字ノ説明ヲ求ムルニ非ス唯此ノ
報告書中ニハ補充計畫及負擔輕減ノ大體方
針ヲモ示サストアルモ只今總理大臣ハ委細
説明セルカ如ク述ヘラレタリ余ハ樞密院カ
本案ノ御諮詢ヲ蒙リタル以上委員會トシテ
條約當面ノ目的タル補充計畫及負擔輕減ニ
付當局ニ質ス所アルヘキハ當然ノコトナリ

ト思料ス然ルニ其ノ大綱要目ヲモ示サスト
謂フニ至テハ餘リニ顧問官ヲシテ是非ノ判
定ニ困難ヲ感セシムルモノト謂フヘシ只主
義トシテ大體如何ナル部分ハ補充費ニ充テ
如何ナル部分ハ負擔輕減ニ充ツルト云フカ
如キ例ヘハ潛水艦七千五百噸ノ不足ヲ基礎
トスレハ何程補充ヲ要スト云フカ如キ大體
ノ目安ハ立テ得ルニ非スヤ何分ノ御説明ヲ
求ム

四番(濱口) 先刻政府ノ所見トシテ述ヘタルカ

如ク海軍ノ既定計畫トシテ昭和六年度ヨリ
同十一年度迄留保セル金額總計約五億圓ニ
シテ之ヲ以テ本條約ニ依ル代換建造並兵力
量補充經費及國民負擔輕減ニ充ツヘシ而シ
テ此等ハ相互ニ關係ヲ有スルヲ以テ同時ニ
決定スルヲ要シ從テ豫算編成期ニ至ラサレ
ハ判明シ難キモノナリ然ラハ金額ヲ離レテ
大綱要目如何之ニ付テハ審査報告書二十三
枚目ニ海軍大臣ノ委員會ニ於ケル説明ヲ記
載セル中ニ然ラハ本條約ニ依ル兵力量ヲ以

テシテ帝國國防ノ安全ヲ期スルコトヲ得ル
ヤ否ヤ之ヲ當局大臣ニ質シタルニ當局大臣
ハ右兵力量ヲ以テシテハ從來ノ國防方針ニ
基ク作戰計畫ノ維持遂行上或ハ困難アラム
モ一面ニハ輕巡洋艦及驅逐艦ニ於テ豫期以
上ノ保有量ヲ獲得セルアリ更ニ他面ニハ代
換建造ノ權利ヲ適當ニ實行スルノ外例ハハ
既成艦船ノ整備裝備ノ改善制限外艦船ノ整
備航空機ノ擴張等所謂内容ノ充實ヲ圖リ且
兵員ノ訓練教養ノ改善乘組定員ノ増加等所

謂術力ノ向上ニ努ムル等ノ補充方法ヲ執ルニ
於テハ略國防ノ安全ヲ期スルコトヲ得ヘシ
ト信ストアリ右ハ委員會ニ於ケル大綱要目
ノ説明ニシテ今日ニ於テモ此レ以上説明ノ
材料ヲ有セサルヲ遺憾トス故ニ此ノ程度ヲ
以テ御了承ヲ乞フ

二十三番(石黒) 此ノ會議ヲ午後ニ續行セラル
ルヤ

議長(倉富) 此ノ上永引ク様ナレハ御都合ヲ伺
ヒタル上ニテ午後ニ續行シテ可ナリ

二十三番(石黒) 本案ニ付テハ委員各位ノ嚴正
ナル態度ヲ以テ十分御精査ノ結果報告セラ
レタル所ニ依リ略了解シタルカ細目ニ至リ
テハ種々質問シタキ事項アリ乍併政府ノ答
辯ヲ察スルニ委員會ニ於ケル説明以上ニ及
ハサルカ如シ故ニ余ハ委員會ノ報告ヲ信シ質
問ヲ差控エヘシ只報告書中ニ國務大臣ノ説明
スル所ニ依レハ近時國內ノ情勢大ニ憂慮ス
ヘキモノ現レ云々トアリ其ノ意如何詳細ノ
御説明ヲ承リタシ

四番(瀕口)

ロンドン條約ニ關シテハ樞府御諮詢

前ヨリ政界ニ及ホスヘキ影響等ニ付世上ニ
兎角ノ風評アリ事ヲ好ムノ徒之ニ和シテ種
々ノ臆說ヲ流布シ爲ニ政界及財界ノ不安ヲ
招クノ徵候アリタルカ七月二十四日愈々本
條約ノ御諮詢ト爲リ樞府事務局ノ下審査ヲ
經テ八月十八日始メテ第一回ノ審査委員會
開會セラレ爾來九月十七日ニ至ル迄日ヲ經
ルコト五十餘日委員會ヲ開クコト十二回其
ノ間都下ノ新聞紙ハ委員會議事ノ秘密ニシ

テ其ノ真相ヲ知ルコトヲ得サル爲妄ニ揣摩
臆測ヲ逞ウシテ種々ノ記事ヲ掲載シ事情ヲ
知ラサル讀者ハ或ハ條約ノ運命ニ付一點ノ
疑ヲ挾ミ或ハ樞府ト政府トノ衝突ヲ危ムニ
至リ各種團體ニシテ此ノ間隙ニ乘シテ策動
ヲ試ムルモノ續出シ又種々ノ文書中ニハ怪
文書ト目セララルモノアリ公然又ハ秘密裡
ニ各方面ニ頒布セラレ離間中傷至ラサルナ
キノ狀況ナリキ爲ニ人ヲシテ其ノ眞偽是非
ヲ辨別セシムルコト能ハサルカ如キ狀態ニ

シテ其ノ結果一般ノ人心ヲシテ一種言フヘカラテ
ル不安不愉快ニ陷ラシメタルコトハ蔽フヘ
カラサル事實ナリ左ナキタニ社會ノ人心鬼
角平靜沈着ヲ缺ケル今日ノ場合ニ於テ此ノ
如キ狀態ノ永續ハ決シテ喜フヘキコトニ非
ズ而モ條約ノ運命カ未定ノ狀態ニ在ル間ハ此ノ
種不安狀態ノ終熄ハ之ヲ望ムコトヲ得サル
ノミナラス人心ノ不安ハ日々ノ新聞ノ記事
其ノ他種々ノ惡宣傳ニ刺戟セラレテ益甚シ
キヲ加フルノ傾向歷然タルモノアリタリ

特ニ政府ノ最モ憂慮ニ堪ヘサリシコトハ財
界ノ問題ナリ我國財界ノ現状ハ金解禁ノ善
後策ニ加フルニ世界的大不景氣ノ影響ヲ受
ケ之ニ善處セサルヘカラサル最モ肝要ナル
時ニシテ一定ノ方針ニ則リ官民一致最善
ノ努力ヲ為スニアラサレハ或ハ國民經濟ノ
前途ヲ誤ラサルヲ恐ル此ノ時ニ方リ樞府對政府
ノ關係ニ因リ政界ノ不安定欠シキニ涉ルニ
於テハ近時頗ル神經過敏ニ陷レル財界ノ人
々ハ何時政變ノ為政府ノ財政經濟政策ニ大

ナル變更ヲ来スヤモ知レストノ憂慮ヨリ
テ事業界金融界ノ人々ハ安心シテ其ノ事業
ヲ經營シ其ノ業務ニ從事スルヲ得ス唯手ヲ
束ネテ空シク成行ヲ傍觀スルノ外ナキノミ
ナラス種々ノ流言蜚語其ノ間ニ行ハレ財界
ヲ惑亂シ公債ヲ始メ各種ノ有價證券市場ハ
動搖シテ毫モ安定シ難カルヘシ抑政界ノ不
安又ハ政變ノ思惑ノ如キハ平常無事ノ際ニ
在テハ財界ニ左迄重大ナル影響ナキ筈ナル
モ今日ノ財界ハ金解禁ノ實行セラレシヨリ

未タ遠カラス從テ其ノ影響未タ鎮靜スルニ
至ラサルニ加ヘテ前述ノ如ク世界的不景氣
ノ影響相當深刻ニシテ財界ノ人心頗ル神經
過敏ト為レル際學者及新聞雜誌記者ノ一部
ノ間ニ從來寧ろ學究的好奇的ニ唱ヘラレタ
ル平價切下解禁論ナルモノ頓ニ氣勢ヲ昂メ
株式市場ニ關係アル者等カ投機思惑的ニ此ノ
說ヲ利用スルニ至リタルノミナラス終ニハ
政界財界ニ於テ相當ノ地位ヲ有スル一部ノ
人々特ニ財界ノ現状及其ノ前途ニ付大ニ悲

觀的意見ヲ有スル人等カ故意カ眞面目ナル
カヲ知ラサルモ次ノ内閣ハ或ハ金ノ輸出再
禁止ヲ斷行シ其ノ結果為替相場ノ或ル程度
ニ下落シ其ノ安定セル頃ヲ見計ヒ其ノ下落
ノ程度ニ應シテ平價ヲ切下ケテ再ヒ金解禁
ヲ實行スルノ政策ヲ取ルニ非サルカトノ觀測
財界ノ或方面ニ行ハルルニ至リ中心之ヲ信
用スル者又之ヲ信用セサル迄モ財界ニ於ケ
ル斯カル危惧心ヲ利用シテ私利私益ヲ圖ル
ノ具ニ供セムトスル者ヲ生シタリ此ノ如キ

現象ハ識者ノ常識ヲ以テシテハ想像スルコ
ト能ハサル所ナルモ何分神經ノ特ニ過敏ト
為レル近時ノ財界ノコトナレハ此等ノ虛實
混淆ノ宣傳又ハ思惑カ案外今日ノ財界ニ實
質的ノ影響ヲ及ホスニ至リタルモノナリ而
シテ其ノ最モ顯著ナル事實ハ正貨ノ海外流
出ナリ金解禁ノ下ニ於テ上半期ノ輸入期ニ
相當ノ正貨流出アルハ怪ムニ足ラサル所ナ
ルモ下半期出超ノ時期ニ入り而モ年末ノ輸
入期ヲ距ルコト尚遠キ最近ノ時機ニ於テ相

當巨額ノ正貨流出ヲ見タルハ其ノ原因他ニ
モ存スヘシト雖主トシテ政界財界ノ人々カ
樞府ニ於ケル條約審議ノ進行ノ遅々タルニ
因リ種々ノ臆說ヲ逞ウシテ政界ノ不安ヲ傳
ヘ夫ヨリ聯想シテ金ノ輸出再禁止一新平價
解禁ヲ氣構ヘテ爲替相場ノ動搖トナリタル
ニ因ルモノト思惟ス故ニ樞府ノ審議ニシテ
尚此ノ上長ク決スル所ナク延イテ政界ノ不
安去ラサルニ於テハ上述ノ如キ傾向ハ益顯
著ト爲リ其ノ結果財界全般ニ如何ナル憂フ

ヘキ現象ヲ見ルニ至ルヤモ測リ難シ本條約
審議ノ成行ニ付政府ノ最モ憂慮シタルハ實
ニ此ノ點ニ存ス幸ニ審査委員各位ニ於テハ
國家ノ重キヲ念トシ速ニ之カ審議ヲ了シ全
員一致ヲ以テ本案ヲ可決セラレタルニ因リ
九月中旬以來ハ漸ク政界ノ安定ヲ見ルニ至
リ延イテ此ノ方面ヨリ來ル財界ノ不安ヲ除
クヲ得ルニ至リタルコトハ政府ノ深ク喜フ
所ナリ

二十三番(石黒)

了解セリ質問シタキコトハ數

々アレトモ審査委員各位ノ嚴密ナル調査
リタルコトナレハ之ヲ敬ヒ且信シテ茲ニ賛
成ノ意ヲ表ス

議長(倉富)

別ニ御發言ナキニ由リ直ニ採決ニ
付スヘシ委員會ノ報告ノ通り賛成ノ各位ノ
起立ヲ請フ

(全會一致可決)

聖上ハ御

(午後零時二十分閉會)

議長男爵倉富勇三郎

書記官長二上 兵治

書記官

堀江 季雄

武藤 盛雄

御批准案

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐メハ
日本國皇帝(御名)此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

朕昭和五年四月二十二日「ロンドン」ニ於テ帝國
全權委員が亞米利加合衆國、英帝國、佛蘭西國及
伊太利國ノ全權委員ト共ニ署名調印シタル千
九百三十年「ロンドン」海軍條約ヲ閱覽點檢シ之
ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千五百九十年昭和五年
月 日
ニ於テ親ラ名ヲ署シ璽ヲ

鈐セシム

御名 國璽

外務大臣

亞米利加合衆國大統領、佛蘭西共和國大統領、「グレート、ブリテン」「アイルランド」及「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下、伊太利國皇帝陛下並ニ日本國皇帝陛下ハ
競争的軍備ニ常ニ伴フ危險ヲ防止シ且負擔ヲ輕減センコトヲ希望シ並ニ
「ワシントン」海軍會議ニ依リ開始セラレタル事業ヲ進展セシメ且軍備ノ一般的ノ制限及縮少ノ漸
進的實現ヲ容易ナラシメンコトヲ希望シ
海軍軍備ノ制限及縮少ニ關スル條約ヲ締結スルコトニ決シ依テ左ノ如ク其ノ全權委員ヲ任命セ
リ

亞米利加合衆國大統領

國務長官「ヘンリ、エル、スティムスン」

英國駐劄大使「チャールズ、ジー、ドーズ」

海軍大臣「チャールズ、フランシス、アダムズ」

「アーカンソー」州選出上院議員「ジョーゼフ、ティー、ロビンソン」

「ペンシルヴェニア」州選出上院議員「デーヴィッド、エー、リード」

白耳義國駐劄大使「ヒュー、ギブスン」

「メキシコ」國駐劄大使「ドワイト、ダブリュー、モロー」

佛蘭西共和國大統領

内務大臣、内閣議長、下院議員「アンドレ、タルディユ」

外務大臣、下院議員「アリスティード、ブリアン」

海軍大臣、下院議員「ジャック・ルイ、デュメニル」

殖民大臣、下院議員「フランソワ、ビエトリ」

英國駐劄佛蘭西共和國大使「エーメ・ジョゼフ、ドゥ、フルリオ」

「グレート、ブリテン」及「アイルランド」及「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下

「グレート、ブリテン」及北部「アイルランド」並ニ國際聯盟ノ各個ノ聯盟國ニ非ザル英帝國

ノ一切ノ部分

國庫尙書兼總理大臣、下院議員「ジュームズ、ラムジ、マクドナルド」

外務大臣、下院議員「アーサー、ヘンダスン」

二

「カナダ」

海軍大臣、下院議員「アルバート、ジクター、アレグザンダー」

印度大臣、下院議員「ウィリアム、ウエデウッド、ベン」

國防大臣、「カナダ」樞密顧問官、陸軍大佐「ジュームズ、レートン、ロールストン」

佛蘭西國駐劄「カナダ」特命全權公使、「カナダ」樞密顧問官「フィリップ、ロア」

「オーストラリア」聯邦

貿易及稅關大臣「ジュームズ、エドワード、フエントン」

「ニュー、ジラランド」

「ロンドン」駐在「ニュー、ジラランド」高級委員「トマス、メースン、ウィルフオード」

南阿弗利加聯邦

「ロンドン」駐在南阿弗利加聯邦高級委員「チャールズ、シアドア、ティー、ウスター」

「アイルランド」自由國

「ロンドン」駐在「アイルランド」自由國高級委員「ティモシ、アロイシアス、スミディ」

印度

三

「ロンドン」駐在印度高級委員「サー、アトール、チャンドラ、チャタジ」

四

伊太利國皇帝陛下

外務大臣、下院議員「ディノ、グランディ」

海軍大臣、上院議員、海軍戦隊少將「ジウゼッペ、シリアンニ」

英國駐劄特命全權大使「アントニオ、キアラモンテ・ボルドナロ」

上院議員、海軍大將、男爵「アルフレド、アクトン」

日本國皇帝陛下

貴族院議員若槻禮次郎

海軍大臣、海軍大將財部彪

英國駐劄特命全權大使松平恒雄

白耳義國駐劄特命全權大使永井松三

右各全權委員ハ互ニ其ノ全權委任狀ヲ示シ之ガ良好妥當ナルヲ認メタル後左ノ如ク協定セリ

第一編

第一條

締約國ハ千九百二十二年二月六日「ワシントン」ニ於テ相互ノ間ニ署名セラレ且本條約ニ於テ「ワシントン」條約ト稱セラルル海軍軍備制限ニ關スル條約ノ第二章第三節ニ規定セラルル主力艦代換トン數ノ罷骨据附ノ自國ノ權利ヲ千九百三十一年乃至千九百三十六年ノ期間中行使セザルコトヲ約ス

右規定ハ不慮ノ事變ニ依リ亡失シ又ハ破壊セラレタル艦船ノ代換ニ關スル前記條約第二章第三節第一款ハニ掲ゲラルル規定ノ適用ヲ妨グルコトナシ

尤モ佛蘭西國及伊太利國ハ前記條約ノ規定ニ依リ千九百二十七年及千九百二十九年ニ自國ガ起工スルノ權利ヲ與ヘラレタル代換トン數ヲ建造スルコトヲ得

第二條

一 合衆國、「グレート、ブリテン」及北部「アイルランド」聯合王國竝ニ日本國ハ左ノ主力艦ヲ

五

本條ニ規定セラルル所ニ從ヒ處分スベシ

合衆國

「フロリダ」

「ユタ」

「アーカンソー」又ハ「ワイオーミング」

聯合王國

「ベンボ」

「アイアン、デューク」

「マーバラ」

「エンペラー、オヴ、インディア」

「タイガー」

日本國

比叻

(イ) (ロ)ノ規定ヲ留保シ前記艦船ハ「ワシントン」條約第二章第二節(ハ)ニ依リ專ラ標的用ニ變更

セラレザル限リ左ノ如ク廢棄セラルベシ

合衆國ニ依リ廢棄セラルベキ艦船中ノ一隻及聯合王國ニ依リ廢棄セラルベキ艦船中ノ二隻ハ本條約ノ實施ノ時ヨリ十二月以内ニ「ワシントン」條約第二章第二節(ロ)ニ從ヒ戰關任務ニ適セザルモノト爲サルベシ右艦船ハ右實施ノ時ヨリ二十四月以内ニ右第二節(イ)又ハ(ロ)ニ從ヒ確定的ニ廢棄セラルベシ合衆國ニ依リ廢棄セラルベキ艦船中ノ第二隻並ニ聯合王國ニ依リ廢棄セラルベキ艦船中ノ第三隻及第四隻ニ付テハ右期間ハ本條約ノ實施ノ時ヨリ夫々十八月及三十月トス

(ロ) 本條ニ依リ處分セラルベキ艦船中左記ハ練習用ノ爲保有セラルルコトヲ得

合衆國 「アーカンソー」又ハ「ワイオーミング」

聯合王國 「アイアン、デューク」

日本國 比叻

右艦船ハ本條約第二編第二附屬書第五款ニ規定セラルル狀態ニ減勢セラルベシ右艦船ヲ要求セラレタル狀態ニ減勢スルノ作業ハ本條約ノ實施ノ時ヨリ合衆國及聯合王國ニ付テハ十二月以内ニ又日本國ニ付テハ十八月以内ニ之ヲ開始スベシ右作業ハ前記期間ノ滿了ノ時ヨリ六月

以內ニ完了セラルベシ

右艦船中ノ何レカニシテ練習用ノ爲保有セラレザルモノハ本條約ノ實施ノ時ヨリ十八月以內ニ戰闘任務ニ適セザルモノト爲サレ且三十月以內ニ確定的ニ廢棄セラルベシ

二 本條約第一條ニ掲ゲラルル代換トン數ヲ佛蘭西國又ハ伊太利國ガ建造スルコトニ依リ「ワシントン」條約ニ依リ必要ト爲ルコトアルベキ主力艦ノ處分ヲ別トシ「ワシントン」條約第二章第三節第二款ニ掲ゲラルル一切ノ現存主力艦ニシテ處分セラルベキモノト前號ニ於テ指定セラレザルモノハ本條約ノ有効期間中保有セララルコトヲ得

三代換ノ權利ハ代換トン數ノ起工ノ遲延ニ依リ失ハルルコトナク且舊艦ハ代換セラルルニ至ル迄ハ「ワシントン」條約第二章第三節第二款ニ依リ廢棄ノ期限ノ到來セル場合ト雖モ保有セララルコトヲ得

第三條

一 「ワシントン」條約ノ適用ニ付テハ該條約第二章第四節ニ示サルル航空母艦ノ定義ハ茲ニ左ノ定義ヲ以テ之ニ代フ

「航空母艦」ナル用語ハ排水量ノ如何ヲ問ハズ特ニ且專ラ航空機ヲ搭載スルノ目的ヲ以テ

設計セラレ且艦上ニ於テ航空機ノ發着シ得ル構造ヲ有スル一切ノ水上艦船ヲ包含ス

二 主力艦、巡洋艦又ハ驅逐艦ニ航空機ノ著艦用又ハ離艦用ノ臺又ハ甲板ヲ裝備スルコトハ右艦船ガ專ラ航空母艦トシテ設計セラレタルカ又ハ改造セラレタルモノニ非ザル限り右ノ如ク裝備セラレタル艦船ヲ航空母艦ノ艦種ニ算入シ又ハ分類スルニ至ラシムルコトナシ

三 千九百三十年四月一日ニ現存スル主力艦ニハ航空機著艦用ノ臺又ハ甲板ヲ裝備スルコトヲ得ズ

第四條

一 口徑六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超ユル砲ヲ搭載スル基準排水量一萬トン（一萬百六十メートル式トン）又ハ之ニ達セザル航空母艦ハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ若ハ建造セシムルコトヲ得ズ

二 一切ノ締約國ニ付本條約ノ實施セララル時ヨリ口徑六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超ユル砲ヲ搭載スル基準排水量一萬トン（一萬百六十メートル式トン）又ハ之ニ達セザル航空母艦ハ何レノ締約國ノ法域内ニ於テモ建造セラレザルベシ

第五條

航空母艦ハ各場合ニ從ヒ「ワシントン」條約第九條若ハ第十條ニ依リ又ハ本條約第四條ニ依リ認めラルルモノニ比シ一層有カナル砲ヲ搭載スル爲ノ設計及構造ヲ有セザルコトヲ要ス
右第九條及第十條ノ何レノ場所ニ於ケルヲ問ハズ口徑六インチ（百五十二ミリメートル）ト掲ゲラルルトキハ口徑六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ以テ之ニ代フ

第二編

第六條

- 一 「ワシントン」條約第二章第四節ニ規定セラルル基準排水量ノ決定ニ關スル規則ハ之ヲ各締約國ノ一切ノ水上艦船ニ適用スベシ
- 二 潜水艦ノ基準排水量トハ乗員充實セラレ、機關据附ケラレ且航海準備（一切ノ武器及彈藥、齊備品、艦裝品、乗員用ノ糧食、各種ノ需品並ニ戰時ニ於テ搭載セラルベキ各種ノ要具ヲ含ム）完成シ唯燃料、潤滑油、清水又ハ「バラスト」用水ハ如何ナル種類ノモノタルヲ問ハズ之ヲ搭載セザル工事完成セル艦船（非防水構造内ノ水ヲ含マズ）ノ水上排水量ヲ謂フ
- 三 海軍ノ各戰艦艦船ハ基準狀態ニ在ル際ノ該艦船ノ排水量トシテ計測セラルベシ「トン」ナル語ハ「メートル式トン」ナル用語ニ於ケルモノヲ除ク外二千二百四十ポンド（千十六キログラム）ノトンナリト解セラルベシ

第七條

- 一 基準排水量二千トン（二千三十二メートル式トン）ヲ超ユルカ又ハ口徑五・一インチ（百三十三ミリメートル）ヲ超ユル砲ヲ有スル潜水艦ハ何レノ締約國モ之ヲ取得シ又ハ之ヲ建造シ若ハ建造セシムルコトヲ得ズ
- 二 尤モ各締約國ハ基準排水量二千八百トン（二千八百四十五メートル式トン）ヲ超エザル潜水艦最大限三隻ヲ保有シ、建造シ又ハ取得スルコトヲ得右潜水艦ハ口徑六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超エザル砲ヲ搭載スルコトヲ得右隻數内ニ於テハ佛蘭西國ハ既ニ進水セラレタル口徑八インチ（二百三十三ミリメートル）ノ砲ヲ有スル二千八百八十トン（二千九百二十六メートル式トン）ノモノ一隻ヲ保有スルコトヲ得
- 三 締約國ハ千九百三十年四月一日ニ於テ其ノ所有セル基準排水量二千トン（二千三十二メートル

ル式トン)ヲ超エザル潜水艦ニシテ口径五・一インチ(百三十三ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ装備セルモノヲ保有スルコトヲ得

四 一切ノ締約國ニ付本條約ガ實施セラルル時ヨリ基準排水量二千トン(二千三十二メートル式トン)ヲ超ユルカ又ハ口径五・一インチ(百三十三ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ有スル潜水艦ハ本條ニ規定セラルル所ヲ除クノ外何レノ締約國ノ法域内ニ於テモ建造セラレザルベシ

第八條

左ノ艦船ハ之ニ對シ制限ヲ附スルコトアルベキ特別ノ協定ヲ留保シ制限ヲ免除セラル

- (イ) 基準排水量六百トン(六百十メートル式トン)以下ノ海軍水上戦闘艦船
- (ロ) 基準排水量六百トン(六百十メートル式トン)ヲ超ユルモ二千トン(二千三十二メートル式トン)ヲ超エザル海軍水上戦闘艦船但シ左ノ特性ノ何レヲモ有セザル場合ニ限ル
 - (一) 口径六・一インチ(百五十五ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ搭載スルコト
 - (二) 口径三インチ(七十六ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ四門ヲ超エ搭載スルコト

- (三) 魚雷ヲ發射スル様設計セラレ又ハ裝置セラレタルコト
- (四) 二十ノットヲ超ユル速力ヲ得ル様設計セラレタルコト

(ハ) 特ニ戦闘艦船トシテ建造セラレタルニ非ザル海軍ノ水上艦船ニシテ艦隊要務ノ爲ニ使用セラレ、軍隊輸送船トシテ使用セラレ又ハ戦闘艦船トシテノ用途以外ノ用途ニ使用セラルルモノ但シ左ノ特性ノ何レヲモ有セザル場合ニ限ル

- (一) 口径六・一インチ(百五十五ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ搭載スルコト
- (二) 口径三インチ(七十六ミリメートル)ヲ超ユル砲ヲ四門ヲ超エ搭載スルコト
- (三) 魚雷ヲ發射スル様設計セラレ又ハ裝置セラレタルコト
- (四) 二十ノットヲ超ユル速力ヲ得ル様設計セラレタルコト
- (五) 装甲鉋ニ依リ防護セラレタルコト
- (六) 機雷ヲ敷設スル様設計セラレ又ハ裝置セラレタルコト
- (七) 空中ヨリ航空機ノ著艦スル様裝置セラレタルコト
- (八) 中央線上ニ航空機發進裝置一基ヲ又ハ各舷側ニ一基ヅツ即チ二基ヲ超エ搭載スルコト
- (九) 航空機ヲ空中ニ發進セシムル何等カノ手段ガ裝置セラレタル場合ニ三機ヲ超ユル航空機

ヲ海上ニ於テ行動セシムル様設計セラレ又ハ改造セラレタルコト

一四

第九條

本第二編第一附屬書ニ掲ゲラルル代換規則ハ航空母艦ヲ除クノ外基準排水量一萬トン（一萬百六十メートル式トン）ヲ超エザル艦船ニ之ヲ適用ス右航空母艦ノ代換ハ「ワシントン」條約ノ規定ニ依リ規律セラル

第十條

締約國ハ主力艦、航空母艦及第八條ニ依リ制限ヲ免除セラレタル艦船以外ノ各艦船ニシテ本條約ノ實施後締約國ニ依リ又ハ締約國ノ爲ニ起工セラレ又ハ竣工セラレタルモノノ起工ノ日及竣工ノ日ノ後夫々一月以内ニ左記細目事項ヲ他ノ各締約國ニ通知スベシ

(イ) 龍骨据附ノ日及左ノ細目

艦船ノ艦種別

トン及メートル式トンニ依ル基準排水量

主要寸法即チ水線全長、水線ニ於ケル又ハ水線下ノ最大幅員

基準排水量ニ於ケル平均吃水

最大備砲ノ口徑

(ロ) 竣工ノ日及右ノ日ニ於ケル當該艦船ニ關スル前記細目

主力艦及航空母艦ニ付爲サルベキ通知ハ「ワシントン」條約ニ依リ規律セラル

第十一條

本條約第二條ノ規定ヲ留保シ本第二編第二附屬書ニ掲ゲラルル處分規則ハ右條約ニ依リ處分セラレベキ一切ノ艦船及第三條ニ定義セラルル航空母艦ニ適用セラルベシ

第十二條

一 本第二編第三附屬書中ノ表ヲ關係締約國間ニ於テ變更スルコトアルベキ一切ノ補足協定ヲ留保シ右表中ニ示サルル特殊艦船ハ保有セラルルコトヲ得ベク且其ノトン數ハ制限ヲ附セラルルトン數中ニ包含セラルルコトナカルベシ

二 右特殊艦船ノ保有ノ目的タル用途ニ充ツル爲建造セラレ、改造セラレ又ハ取得セラルル他ノ何レノ艦船モ其ノ特性ニ從ヒ適當ノ戦闘艦船艦種ノトン數中ニ算入セラルベシ但シ右艦船ガ第八條ニ依リ制限ヲ免除セラレタル艦船ノ特性ニ適合スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

三 尤モ日本國ハ千九百三十六年十二月三十一日前ニ機雷敷設艦阿蘇及常磐ヲ新機雷敷設艦ニ變換スルコトヲ得各新艦船ノ基準排水量ハ五千トン（五千メートル式トン）ヲ超ユ

一五

ルコトヲ得ズ右艦船ノ速力ハ二十ノットヲ超ユルコトヲ得ザルベク且該艦船ノ他ノ特性ハ第八條(ロ)ノ規定ニ從フベシ右新艦船ハ特殊艦船ト看做サルベク且其ノトン數ハ何レノ戰國艦船艦種ノトン數中ニモ算入セラルルコトナカルベシ阿蘇及常磐ハ代艦竣工ノ時ニ於テ本第二編第二附屬書第一款又ハ第二款ニ從ヒ處分セラルベシ

四 淺間、八雲、出雲、磐手及春日ハ球磨級ノ最初ノ艦船三隻ガ新艦船ニ依リ代換セラレタルトキハ本第二編第二附屬書第一款又ハ第二款ニ從ヒ處分セラルベシ右球磨級ノ艦船三隻ハ本第二編第二附屬書第五款(ロ)ニ規定セラルル狀態ニ減勢セラルベク且練習艦トシテ使用セラルベシ右艦船ノトン數ハ制限ヲ附セラルルトン數中ニ爾後包含セラレザルベシ

第十三條

千九百三十年四月一日前ニ固定練習用施設又ハ「ハルク」トシテ使用セラレタル各種ノ型式ノ現存艦船ハ航海不能ノ狀態ニ於テ保有セラルルコトヲ得

第一附屬書

代換規則

第一款

本附屬書第三款及本條約第三編ニ規定セラルル所ヲ除クノ外艦船ハ其ノ「艦齡超過」ト爲ルニ先チ代換セラルルコトヲ得ズ艦船ハ其ノ竣工ノ日後左記年數ガ經過シタルトキハ「艦齡超過」ト爲レルモノト看做サルベシ

- (イ) 基準排水量三千トン(三千四十八メートル式トン)ヲ超ユルモノ一萬トン(一萬百六十メートル式トン)ヲ超エザル水上艦船ニ付テハ
 - (一) 千九百二十年一月一日前ニ起工セラレタルトキハ十六年
 - (二) 千九百十九年十二月三十一日後ニ起工セラレタルトキハ二十年
- (ロ) 基準排水量三千トン(三千四十八メートル式トン)ヲ超エザル水上艦船ニ付テハ
 - (一) 千九百二十一年一月一日前ニ起工セラレタルトキハ十二年
 - (二) 千九百二十年十二月三十一日後ニ起工セラレタルトキハ十六年
- (ハ) 潜水艦ニ付テハ十三年

代換トン數ノ龍骨ハ代換セラルベキ艦船ガ「艦齡超過」ト爲ル年ノ三年ノ期間前ニ於テハ据附ケラルルコトヲ得ズ但シ右期間ハ基準排水量三千トン(三千四十八メートル式トン)ヲ超エザル代

換水上艦船ニ付テハ二年ニ短縮セラル

代換ノ權利ハ代換トシテ起工ノ遅延ニ依リ失ハルルコトナシ

第二款

本條約ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外一隻又ハ數隻ノ艦船ニシテ之ガ保有ノ結果當該艦種ニ付許サレタル最大限トシテ數ヲ超過スルニ至ルモノハ代換トシテ數ノ竣工又ハ取得ノ時ニ於テ本第二編第二附屬書ニ從ヒ處分セラルベシ

第三款

艦船ハ亡失又ハ不慮ノ事變ニ依リ破壊ノ場合ニ於テハ直ニ代換セラルルコトヲ得

第二附屬書

艦船ノ處分規則

本條約ハ左ノ方法ニ依リ艦船ヲ處分スルコトヲ規定ス

- (一) 廢棄スルコト(沈没セシメ又ハ解體スルコト)
- (二) 艦船ヲ「ハルク」ニ變更スルコト

(三) 艦船ヲ専ラ標的用ニ變更スルコト

(四) 艦船ヲ専ラ實驗用ノ爲保有スルコト

(五) 艦船ヲ専ラ練習用ノ爲保有スルコト

主力艦以外ノ處分セラルベキ何レノ艦船モ當該締約國ノ選擇ニ依リ廢棄セラルルカ又ハ「ハルク」ニ變更セラルルコトヲ得

主力艦以外ノ艦船ニシテ標的用、實驗用又ハ練習用ノ爲保有セラレタルモノハ終局ニ於テハ廢棄セラルルカ又ハ「ハルク」ニ變更セラルベシ

第一款

廢棄セラルベキ艦船

(イ) 代換ノ事由ニ基キ廢棄ニ依リ處分セラルベキ艦船ハ其ノ代艦ノ竣工又ハ其ノ代艦一隻ヲ超ユル場合ニハ該代艦中ノ第一隻ノ竣工ノ日後六月以内ニ戰闘任務ニ堪ヘザルモノト爲サルコトヲ要ス但シ右一隻又ハ數隻ノ新艦ノ竣工ガ遅延セラレタル場合ニ於テハ舊艦ヲ戰闘任務ニ堪ヘザルモノト爲スノ作業ハ右遅延ニ拘ラズ右一隻ノ新艦又ハ數隻ノ新艦中ノ第一隻ノ龍骨ノ据附ノ日より四年半以内ニ完了セラルベシ尤モ右一隻ノ新艦又ハ數隻ノ新艦ノ何レカガ基準排水量

三千トン(三千四十八メートル式トン)ヲ超エザル水上艦船ナル場合ニ於テハ右期間ハ三年半ニ短縮セラル

110

- (ロ) 廢棄セラルベキ艦船ハ左ノ諸物件ガ撤去セラレ且陸揚セラレタルカ又ハ艦内ニ於テ破壊セラレタルトキハ戰闘任務ニ堪ヘザルモノト看做サルベシ
- (一) 一切ノ砲及砲ノ主要部分、射撃指揮所竝ニ一切ノ砲塔ノ旋回部
- (二) 一切ノ砲塔操作ノ水壓機械又ハ電力機械
- (三) 一切ノ射撃指揮要具及測距儀
- (四) 一切ノ彈藥、爆藥、機雷及機雷敷設用軌道
- (五) 一切ノ魚雷、實用頭部、魚雷發射管及發射管旋回盤用軌道
- (六) 一切ノ無線電信裝置
- (七) 一切ノ主要推進機械又ハ之ガ代トシテ裝甲司令塔及一切ノ舷側裝甲板
- (八) 一切ノ航空機用「クレーン」、「デリック」、昇降機及發進裝置竝ニ一切ノ航空機著艦用若ハ離艦用ノ臺及甲板又ハ此等ノ代トシテ一切ノ主要推進機械
- (九) 潛水艦ニ付テハ右ノ外一切ノ主要蓄電池、空氣壓搾裝置及「バラスト、ポンプ」

(ハ) 廢棄ハ艦船ヲ戰闘任務ニ堪ヘザルモノト爲スノ作業ノ完了期限ノ到來ノ日ヨリ十二月以内ニ左ノ方法ノ何レカニ依リ確定的ニ實行セラルベシ

- (一) 艦船ヲ永久ニ沈没セシムルコト
- (二) 艦船ヲ解體スルコト 解體ハ一切ノ機械、汽罐及裝甲竝ニ一切ノ甲板、舷側及艦底ノ板ノ破壊又ハ撤去ヲ常ニ包含スベシ

第二款

「ハルク」ニ變更セラルベキ艦船

「ハルク」ニ變更スルコトニ依リ處分セラルベキ艦船ハ第一款(ロ)(六)、(七)及(八)ヲ除クニ規定セラルル條件ガ充サレ且左記ガ實行セラレタルトキハ確定的ニ處分セラレタルモノト看做サルベシ

- (一) 一切ノ推進軸、推力承、「タービン」減速裝置又ハ推進用主電動機及主機械ノ「タービン」又ハ蒸汽笛ヲ修繕シ得ザル程度ニ損壞スルコト
- (二) 推進機張出承ヲ撤去スルコト
- (三) 一切ノ航空機用昇降機ヲ撤去シ且解體スルコト竝ニ一切ノ航空機用「クレーン」、「デリック」

クシ及發進裝置ヲ撤去スルコト

二二

本艦船ハ艦船ヲ戰闘任務ニ堪ヘザルモノト爲スコトニ關シ第一款ニ於テ規定セラルル所ト同一ノ期限迄ニ前記狀態ト爲サルコトヲ要ス

第三款

標的用ニ變更セラルベキ艦船

(イ) 専ラ標的用ニ變更スルコトニ依リ處分セラルベキ艦船ハ左記物件ガ撤去セラレ且陸揚セラレタルカ又ハ艦内ニ於テ使用不能ノモノト爲サレタルトキハ戰闘任務ニ堪ヘザルモノト看做サルベシ

(一) 一切ノ砲

(二) 一切ノ射撃指揮所及射撃指揮要具並ニ主要射撃指揮通信電線
砲架操作又ハ砲塔操作ノ一切ノ機械

(四) 一切ノ彈藥、爆藥、機雷、魚雷及魚雷發射管

(五) 一切ノ航空用設備及附屬物件

本艦船ハ艦船ヲ戰闘任務ニ堪ヘザルモノト爲スコトニ關シ第一款ニ於テ規定セラルル所ト同一

ノ期限迄ニ前記狀態ト爲サルコトヲ要ス

(ロ) 各締約國ガ「ワシントン」條約ニ依リ既ニ有スル權利以外ニ各締約國ハ専ラ標的用ノ爲左記ヲ何時ニテモ同時ニ保有スルコトヲ許サル

(一) 三隻ヲ超エザル艦船(巡洋艦又ハ驅逐艦)但シ右三隻中一隻ニ限り基準排水量三千トン(三千四百十八メートル式トン)ヲ超ユルコトヲ得

(二) 潜水艦一隻

(ハ) 標的用ノ爲艦船ヲ保有シタルトキハ當該締約國ハ之ヲ再ビ戰闘任務用ニ變更セザルコトヲ約ス

第四款

實驗用ノ爲保有セラルル艦船

(イ) 専ラ實驗用ニ變更スルコトニ依リ處分セラルベキ艦船ハ本附屬書第三款(イ)ノ規定ニ從ヒ處理セラルベシ

(ロ) 一般規則ヲ妨グルコトナク且他ノ締約國ニ適當ノ通告ガ爲サルコトヲ條件トシ本附屬書第三款(イ)ニ規定セラルル狀態トノ相當ノ相違ハ特別ノ實驗用ノ爲必要ナルコトアルベキ範圍内

二三

ニ於テ一時的措置トシテ許サルコトヲ得

右規定ヲ利用スル何レノ締約國モ右相違ノ全細目及右相違ヲ必要トスル期間ヲ提示スルコトヲ要ス

二四

(ハ) 各締約國ハ専ラ實驗用ノ爲左記ヲ何時ニテモ同時ニ保有スルコトヲ許サル

- (一) 二隻ヲ超エザル艦船(巡洋艦又ハ驅逐艦)但シ右二隻中一隻ニ限り基準排水量三千トン(三千四百十八メートル式トン)ヲ超ユルコトヲ得
- (二) 潜水艦一隻

(ニ) 聯合王國ハ實驗用ノ爲ノ必要ナキニ至ル迄主砲及砲架ノ既ニ損壞セラレタル「モニター」艦「ロバート」並ニ水上飛行機母艦「アーク、ロイアル」ヲ其ノ現狀ニ於テ保有スルコトヲ許サル

右二隻ノ艦船ヲ保有スルコトハ前記ハニ依リ許サレタル艦船ノ保有ヲ妨グルモノニ非ズ

(ホ) 實驗用ノ爲艦船ヲ保有シタルトキハ當該締約國ハ之ヲ再ビ戰闘任務用ニ變更セザルコトヲ約ス

第五款

練習用ノ爲保有セララル艦船

(イ) 締約國ガ「ワシントン」條約ニ依リ既ニ有スル權利以外ニ各締約國ハ専ラ練習用ノ爲左ノ艦船ヲ保有スルコトヲ許サル

合衆國 主力艦一隻(「アーカンソー」又ハ「ワイオーミング」)

佛蘭西國 水上艦船二隻 内一隻ハ基準排水量三千トン(三千四百十八メートル式トン)ヲ超ユルコトヲ得

聯合王國 主力艦一隻(「アイアン、デューク」)

伊太利國 水上艦船二隻 内一隻ハ基準排水量三千トン(三千四百十八メートル式トン)ヲ超ユルコトヲ得

日本國 主力艦一隻(比叡)及巡洋艦三隻(球磨級)

(ロ) (イ)ノ規定ニ依リ練習用ノ爲保有セラレタル艦船ハ該艦船ガ處分セララルコトヲ要スル日ヨリ六月以内ニ左ノ如ク處理セラルベシ

一 主力艦

左記ヲ實行スベシ

(一) 主砲、一切ノ砲塔ノ旋回部及砲塔操作用機械ノ撤去但シ砲塔三基ハ兵裝ノ儘各艦ニ存置

二五

セラルルコトヲ得

二六

- (二) 艦内ニ残存スル砲ニ射撃訓練ノ爲要スル量ヲ超ユル一切ノ彈藥及爆藥ノ撤去
 - (三) 司令塔竝ニ最前部及最後部ノ砲塔間ノ舷側装甲帶ノ撤去
 - (四) 一切ノ魚雷發射管ノ撤去又ハ損壞
 - (五) 最高速力十八ノットヲ得ルニ要スル數ヲ超ユル一切ノ汽罐ノ撤去又ハ艦内ニ於ケル損壞
- 二 佛蘭西國、伊太利國及日本國ニ依リ保有セラルル他ノ水上艦船

左記ヲ實行スベシ

- (一) 砲ノ半數ノ撤去但シ主要口徑砲四門ハ各艦船ニ存置セラルルコトヲ得
- (二) 一切ノ魚雷發射管ノ撤去
- (三) 一切ノ航空用設備及附屬物件ノ撤去
- (四) 汽罐ノ半數ノ撤去

(ハ) 關係締約國ハ本款ノ規定ニ依リ保有セラルル艦船ガ戰闘用ノ爲使用セラレザルベキコトヲ約ス

第三附屬書

特殊艦船

合衆國

艦船ノ名及型式

「アルーストック」	機雷敷設艦	四、九五〇
「オグララ」	機雷敷設艦	四、九五〇
「ボールティモア」	機雷敷設艦	四、四一三
「サン、フランシスコ」	機雷敷設艦	四、〇八三
「シャイエン」	「モニター」艦	二、八〇〇
「ヘリナ」	砲艦	一、三九二
「イザベル」	「ヨット」	九三八
「ナイアガラ」	「ヨット」	二、六〇〇
「ブリヂポート」	驅逐母艦	一、七五〇
「ドビン」	驅逐母艦	一、二四五〇

二七

「メルヴィル」	驅逐母艦	七、一五〇
「フットニ」	驅逐母艦	一二、四五〇
「ホランド」	潜水母艦	一一、五七〇
「ヘンダスン」	海軍運送船	一〇、〇〇〇

九一、四九六

佛蘭西國

艦船ノ名及型式

「カストール」	機雷敷設艦	三、一五〇
「ボリニックス」	機雷敷設艦	二、四六一
「コンマングン・テスト」	水上飛行機母艦	一〇、〇〇〇
「エース」	通報艦	六〇〇
「マルヌ」	同	六〇〇
「アングル」	同	六〇四

排水量

「スカルプ」	同	六〇四
「シュイップ」	同	六〇四
「ダンケルク」	同	六四四
「ラフォー」	同	六四四
「バボーム」	同	六四四
「ナンシー」	同	六四四
「カレ」	同	六四四
「ラッシニー」	同	六四四
「レ、ゼバルジュ」	同	六四四
「ルミールモン」	同	六四四
「デュール」	同	六四四
「トゥール」	同	六四四
「エビナル」	同	六四四
「リエジアン」	同	六四四

()

網敷設艦

三〇

二、二九三

二八、六四四

全英聯盟

艦船ノ名及型式

排水量

「アドヴェンチャ」(聯合王國)	機雷敷設艦	六、七四〇 _{トン}
「アルバトロックス」(「オーストラリア」)	水上飛行機母艦	五、〇〇〇
「エリバス」(聯合王國)	「モニター」艦	七、二〇〇
「テラー」(聯合王國)	「モニター」艦	七、二〇〇
「マーシャル、ソールト」(聯合王國)	「モニター」艦	六、四〇〇
「クライヴ」(印度)	「スループ」艦	二、〇二一
「メドウェー」(聯合王國)	潜水母艦	一五、〇〇〇
		四九、五六一

伊太利國

艦船ノ名及型式

排水量

「ミラリア」	水上飛行機母艦	四、八八〇 _{トン}
「ファア、ディ、ブルーノ」	「モニター」艦	二、八〇〇
「モンテ、グラッパ」	「モニター」艦	六〇五
「モンテルロ」	「モニター」艦	六〇五
「モンテ、チェンジオ」	前「モニター」艦	五〇〇
「モンテ、ノヴェニオ」	前「モニター」艦	五〇〇
「カンパニア」	「スループ」艦	二、〇七〇
		一一、九六〇

日本國

艦船ノ名及型式

排水量

阿蘇	機雷敷設艦	七、一八〇 _{トン}
----	-------	---------------------

三一

常磐	同	九、二四〇
淺間	老齡巡洋艦	九、二四〇
八雲	同	九、〇一〇
出雲	同	九、一八〇
磐手	同	九、一八〇
春日	同	七、〇八〇
淀	砲艦	一、三二〇
		六、四三〇

三二

第三編

亞米利加合衆國大統領、「グレート、ブリテン」「アイルランド」及「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下並ニ日本國皇帝陛下ハ相互ノ間ニ於テ本第三編ノ規定ニ同意セリ

第十四條

合衆國、全英聯盟及日本國ノ海軍戰艦ニシテ主力艦、航空母艦及第八條ニ依リ制限ヲ免除セラレタル一切ノ艦船以外ノモノハ本第三編ニ規定セラルル所ニ從ヒ又特殊艦船ニ付テハ第十二條ニ規定セラルル所ニ從ヒ本條約ノ有效期間中制限セラルベシ

第十五條

本第三編ノ適用ニ付テハ巡洋艦艦種及驅逐艦艦種ノ定義ハ左ノ如クナルベシ

巡洋艦

主力艦又ハ航空母艦以外ノ水上艦船ニシテ基準排水量千八百五十トン（千八百八十メートル式トン）ヲ超ユルカ又ハ口徑五・一インチ（百三十ミリメートル）ヲ超ユル砲ヲ有スルモノ

巡洋艦艦種ハ左ノ如ク二級ニ分タル

- (甲) 口徑六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超ユル砲ヲ搭載スル巡洋艦
- (乙) 口徑六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超エザル砲ヲ搭載スル巡洋艦

三三

驅逐艦

三四

基準排水量千八百五十トン（千八百八十メートル式トン）ヲ超エザル水上艦船ニシテ口徑五・一インチ（百三十三ミリメートル）ヲ超エザル砲ヲ有スルモノ

第十六條

一 千九百三十六年十二月三十一日ニ於テ超過スベカラザル巡洋艦、驅逐艦及潜水艦ノ各艦種ノ竣工トン數ハ左表ニ示サル

艦種	合衆國	全英聯盟	日本國
巡洋艦			
(甲) 口徑六・一インチ（百五十五ミリメートル）ヲ超ユル砲ヲ有スルモノ	一八〇、〇〇〇トン （一八二、八八〇メートル式トン）	一四六、八〇〇トン （一四九、一四九メートル式トン）	一〇八、四〇〇トン （一一〇、一三四メートル式トン）
(乙) 口徑六・一インチ（百五十五ミリメートル）以下ノ砲ヲ有スルモノ	一四三、五〇〇トン （一四五、七九六メートル式トン）	一九二、二〇〇トン （一九五、二七五メートル式トン）	一〇〇、四五〇トン （一二二、〇五七メートル式トン）

驅逐艦

潛水艦	驅逐艦
五二、七〇〇トン（五三、五四三メートル式トン）	一五〇、〇〇〇トン （一五二、四〇〇メートル式トン）
五二、七〇〇トン（五三、五四三メートル式トン）	一五〇、〇〇〇トン （一五二、四〇〇メートル式トン）
五二、七〇〇トン（五三、五四三メートル式トン）	一〇五、五〇〇トン （一〇七、一八八メートル式トン）

二 艦船ニシテ何レカノ艦種ニ於ケル合計トン數ヲシテ前記ノ表ニ示サル數字ヲ超過スルニ至ラシムルモノハ千九百三十六年十二月三十一日ニ終ル期間中ニ漸次處分セラルベシ

三 (甲)級巡洋艦ノ最大隻數ハ合衆國ニ付テハ十八隻、全英聯盟ニ付テハ十五隻又日本國ニ付テハ十二隻タルベシ

四 驅逐艦艦種ニ於テハ割當合計トン數ノ一割六分ヲ超エザルモノハ基準排水量千五百トン（千五百二十四メートル式トン）ヲ超ユル艦船ニ使用セラルコトヲ得千九百三十年四月一日ニ於テ竣工済又ハ建造中ニシテ右割合ヲ超ユル驅逐艦ハ保有セラルコトヲ得ルモ基準排水量千五百トン（千五百二十四メートル式トン）ヲ超ユル他ノ驅逐艦ハ右一割六分迄ノ引下ガ實現セラル

三五

ルニ至ル迄ハ建造セラレ又ハ取得セラルルコトヲ得ズ

五 巡洋艦艦種ニ於ケル割當合計トン數ノ二割五分ヲ超エザルモノニハ航空機著艦用ノ臺又ハ甲板ヲ裝備スルコトヲ得

六 第七條二及三ニ掲ゲラルル潛水艦ハ當該締約國ノ潛水艦合計トン數ノ一部トシテ計算セラルベキモノトス

七 本條約第十三條ニ依リ保有セラレ又ハ第二編第二附屬書ニ從ヒ處分セラルル艦船ノトン數ハ制限ヲ附セラルルトン數中ニ包含セラルルコトナカルベシ

第十七條

融通ヲ受クベキ艦種又ハ艦級ノ割當合計トン數ノ一割ヲ超エザル融通ハ(乙)級巡洋艦ト驅逐艦トノ間ニ於テ許サルベシ

第十八條

合衆國ハ(甲)級巡洋艦十五隻總トン數十五萬トン(十五萬二千四百メートル式トン)ヲ千九百三十五年迄ニ竣工スルノ企圖ヲ有ス合衆國ハ自國ガ建造スルノ權利ヲ與ヘラレタル殘餘ノ(甲)級巡洋艦

三隻ノ各隻ニ代フルニ(乙)級巡洋艦ノ一萬五千六百六十トン(一萬五千四百九メートル式トン)ヲ以テスルコトヲ選擇スルコトヲ得合衆國ガ右殘餘ノ(甲)級巡洋艦三隻中ノ一隻又ハ二隻以上ヲ建造スル場合ニ於テハ第十六隻ハ千九百三十三年前ニハ起工セラレザルベク且千九百三十六年前ニハ竣工セラレザルベシ第十七隻ハ千九百三十四年前ニハ起工セラレザルベク且千九百三十七年前ニハ竣工セラレザルベシ第十八隻ハ千九百三十五年前ニハ起工セラレザルベク且千九百三十八年前ニハ竣工セラレザルベシ

第十九條

第二十條ニ規定セラルル所ヲ除クノ外第十六條ニ依リ制限ヲ附セラルル何レカノ艦種ニ於ケル起工トン數ハ該艦種ノ最大割當トン數ニ達スル爲ニ又ハ千九百三十六年十二月三十一日前ニ「艦齡超過」ト爲ル艦船ヲ代換スル爲ニ必要ナル量ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ代換トン數ハ千九百三十七年、千九百三十八年及千九百三十九年ニ「艦齡超過」ト爲ル巡洋艦及潛水艦並ニ千九百三十七年及千九百三十八年ニ「艦齡超過」ト爲ル驅逐艦ニ對シ起工セラルルコトヲ得

第二十條

第二編第一附屬書ニ掲ゲラルル代換規則ニ拘ラズ

- (イ) 「フロビシア」及「エフィンガム」(聯合王國)ハ千九百三十六年中ニ處分セラルルコトヲ得
千九百三十年四月一日ニ於テ建造中ナル巡洋艦ニ關係ナク千九百三十六年十二月三十一日前
ニ全英聯盟ニ付竣工セラルベキ巡洋艦ノ合計代換トン數ハ九萬千トン(九萬二千四百五十六
メートル式トン)ヲ超ユルコトヲ得ズ
- (ロ) 日本國ハ千九百三十六年中ニ完了セラルベキ新艦建造ニ依リ多摩ヲ代換スルコトヲ得
千九百三十六年十二月三十一日前ニ「艦齡超過」ト爲ル驅逐艦ヲ代換スルコト以外ニ日本
國ハ千九百三十八年及千九百三十九年ニ「艦齡超過」ト爲ル艦船ノ一部ヲ代換スル爲千九百
三十五年及千九百三十六年ノ各年ニ於テ五千二百トン(五千二百八十三メートル式トン)ヲ
超エザルトン數ヲ起工スルコトヲ得
- (ニ) 日本國ハ潜水艦トン數一萬九千二百トン(一萬九千五百七メートル式トン)ヲ超エザルモ
ノヲ起工スルコトニ依リ本條約ノ有効期間中ニ於テ代換ヲ繰上グルコトヲ得右トン數中一萬
二千トン(一萬二千九百九十二メートル式トン)ヲ超エザルモノハ千九百三十六年十二月三十一
日迄ニ竣工セラルルコトヲ得

第二十一條

本條約ノ有効期間中本條約第三編ノ何レカノ締約國ニ於テ本條約第三編ニ依リ制限セラレタル艦
船ニ關シ自國ノ安全ノ要件ガ本條約第三編ノ締約國以外ノ何レカノ國ノ新艦建造ニ依リ重大ナル
影響ヲ受ケタリト認メタル場合ニ於テハ右締約國ハ右艦船ノ艦種中ノ一又ハ二以上ニ於テ自國ノ
トン數ニ付爲サルルコトヲ要スル増加ニ關シ、企圖セラレタル増加及之ガ理由ヲ特ニ明示シテ第
三編中ノ他ノ締約國ニ通告シ右増加ヲ爲スノ權利ヲ有スベシ右ノ結果トシテ本條約第三編中ノ他
ノ締約國ハ右明示セラレタル一艦種又ハ數艦種ヲ比例的ニ増加スルノ權利ヲ有スベク且右他ノ締
約國ハ右ニ依リ生ジタル事態ニ關シ外交的手段ニ依リ相互ニ速ニ協議スベシ

第四編

第二十二條

左記ハ國際法ノ確立セル規則トシテ受諾セラル

- (一) 潜水艦ハ其ノ商船ニ對スル行動ニ關シテハ水上艦船ガ從フベキ國際法ノ規則ニ從フコトヲ
要ス

四〇

(二) 特ニ、商船ガ正當ニ停船ヲ要求セラレタル時ニ於テ之ヲ頑強ニ拒否スルカ又ハ臨檢若ハ搜索ニ對シ積極的ニ抗拒スル場合ヲ除クノ外軍艦ハ其ノ水上艦船タルト潜水艦タルトヲ問ハズ先ヅ乗客、船員及船舶書類ヲ安全ノ場所ニ置クニ非ザレバ商船ヲ沈没セシメ又ハ航海ニ堪ヘザルモノト爲スコトヲ得ズ右規定ノ適用ニ付テハ船ノ短艇ハ當該時ノ海上及天候ノ狀態ニ於テ陸地ニ近接セルコト又ハ乗客及船員ヲ船内ニ收容スルコトヲ得ル他ノ船舶ノ存在スルコトニ依リ右乗客及船員ノ安全ガ確保セラルルニ非ザレバ安全ノ場所ト看做サルルコトナシ
締約國ハ他ノ一切ノ國ニ對シ前記規則ニ其ノ同意ヲ表センコトヲ勸誘ス

第五編

第二十三條

左ノ例外ヲ留保シ本條約ハ千九百三十六年十二月三十一日ニ至ル迄引續キ效力ヲ有スベシ

- (一) 第四編ハ無期限ニ引續キ效力ヲ有スベシ
(二) 第三條、第四條及第五條ノ規定並ニ航空母艦ニ關スル限リ第十一條及第二編第二附屬書ノ

規定ハ「ワシントン」條約ト同一ノ期間内引續キ效力ヲ有スベシ

締約國ハ其ノ全部ガ締約國ト爲ルベキ一層一般的ナル海軍軍備制限協定ニ依リ別段ノ取極ヲ爲サザル限リ本條約ニ代リ且本條約ノ目的ヲ遂行スル新條約ヲ作成スル爲千九百三十五年ニ會議ヲ開催スベシ但シ本條約ノ何レノ規定モ右會議ニ於ケル何レノ締約國ノ態度ヲモ妨グルコトナカルベキモノトス

第二十四條

- 一 本條約ハ締約國ニ依リ各自ノ憲法上ノ手續ニ從ヒ批准セラルベク且批准書ハ成ルベク速ニ「ロンドン」ニ於テ寄託セラルベシ一切ノ批准書寄託調書ノ認證謄本ハ一切ノ締約國ノ政府ニ送付セラルベシ
二 亞米利加合衆國、本條約ノ前文ニ列記セラルル全英聯盟ノ各邦ニ關シ「グレート、ブリテン」「アイルランド」及「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下並ニ日本國皇帝陛下ノ批准書ガ寄託セラレタル時直ニ本條約ハ右締約國ニ付實施セラルベシ
三 佛蘭西共和國及伊太利王國ノ批准書ガ前號ニ掲ゲラルル實施ノ日ニ於テ寄託濟ナルトキハ本條約ノ第一編、第二編、第四編及第五編ハ右ノ日ニ於テ右兩國ニ付實施セラルベク然ラザル場

合ニ於テハ右諸編ハ右兩國ノ各ニ付其ノ批准書ノ寄託アリタル時ニ於テ實施セラルベシ
 四 本條約第三編ヨリ生ズル權利及義務ハ本條ニ掲ゲラルル締約國ニ局限セラル締約國ハ本條
 ニ掲ゲラルル締約國ノ右第三編ニ依リ負擔スル義務ガ佛蘭西國及伊太利國トノ關係ニ於テ本
 條ニ締約國ヲ拘束スル口及條件ニ關シ協定ヲ爲スベシ右協定ハ同時ニ佛蘭西國及伊太利國ノ
 他ノ締約國トノ關係ニ於ケル同様ノ義務ヲ決定スベシ

第二十五條

一切ノ締約國ノ批准書ノ寄託後「グレート、ブリテン」及北部「アイルランド」聯合王國ニ於ケ
 ル皇帝陛下ノ政府ハ本條約第四編ニ掲ゲラルル規定ヲ右條約ノ署名國ニ非ザル一切ノ國ニ通知シ
 テ確定的ニ且無期限ニテ右規定ニ加入スルコトヲ右一切ノ國ニ對シ勸誘スベシ
 右加入ハ「グレート、ブリテン」及北部「アイルランド」聯合王國ニ於ケル皇帝陛下ノ政府ニ宛
 テタル宣言書ニ依リ行ハルベシ

第二十六條

本條約ハ佛蘭西語及英吉利語ノ本文ヲ以テ共ニ正文トシ「グレート、ブリテン」及北部「アイル
 ランド」聯合王國ニ於ケル皇帝陛下ノ政府ノ記録ニ寄託保存セラルベシ右本文ノ認證謄本ハ一切

ノ締約國ノ政府ニ送付セラルベシ

右證據トシテ前記各全權委員ハ本條約ニ署名調印セリ

千九百三十年四月二十二日「ロンドン」ニ於テ作成ス

ヘンリ、エル、スティムスン
 チャールズ、ジー、ドーズ
 チャールズ、エフ、アダムズ
 ジョゼフ、ティー、ロビンソン
 デーヴィッド、エー、リード
 ヒュー、ギブスン
 ドワイト、ダブリュー、モロー
 アリストテード、ブリアン

(印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印)

ジー、エル、デメニル
 アー、ド、フルリオ
 ジェー、ラムジ、マクドナルド
 アーサー、ヘンダスン
 エー、グイー、アレグザンダー
 ダブリュー、ウエヂウッド、ベン
 フィリップ、ロア
 ジェームズ、イー、フエント
 ティー、エム、ウィルフ
 シー、ティー、ティー、ウォーター
 ティー、エー、スミディ
 アトール、シー、チャタジー
 ジー、シリアンニ
 アー、チー、ボルドナロ

四四

(印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印) (印)

アルフレド、アクトン
 若槻禮次郎
 財部 彪
 松平 恒雄
 永井 松三

(印) (印) (印) (印) (印)

四五

Le Président des États-Unis d'Amérique, le Président de la République Française, Sa Majesté le Roi de Grande-Bretagne, d'Irlande et des Territoires Britanniques au delà des Mers, Empereur des Indes, Sa Majesté le Roi d'Italie et Sa Majesté l'Empereur du Japon,

Soucieux de prévenir les dangers et de réduire les charges inhérents à une rivalité d'armements,

Désireux de faire progresser l'œuvre commencée par la Conférence Navale de Washington et de faciliter la réalisation progressive d'une limitation et d'une réduction générales des armements,

Ont résolu de conclure un Traité pour la limitation et la réduction des armements navals, et ont à cet effet désigné pour leurs Plénipotentiaires :

Le Président des États-Unis d'Amérique :

Henry L. Stimson, Secrétaire d'État ;

Charles G. Dawes, Ambassadeur près la Cour de St. James ;

Charles Francis Adams, Secrétaire pour la Marine ;

The President of the United States of America, the President of the French Republic, His Majesty the King of Great Britain, Ireland and the British Dominions beyond the Seas, Emperor of India, His Majesty the King of Italy, and His Majesty the Emperor of Japan,

Desiring to prevent the dangers and reduce the burdens inherent in competitive armaments, and

Desiring to carry forward the work begun by the Washington Naval Conference and to facilitate the progressive realization of general limitation and reduction of armaments,

Have resolved to conclude a Treaty for the limitation and reduction of naval armament, and have accordingly appointed as their Plenipotentiaries :

The President of the United States of America :

Henry L. Stimson, Secretary of State ;

Charles G. Dawes, Ambassador to the Court of St. James ;

Charles . Francis Adams, Secretary of the Navy ;

Joseph T. Robinson, Sénator de l'État d'Arkansas;	Joseph T. Robinson, Senator from the State of Arkansas;
David A. Reed, Sénator de l'État de Pennsylvanie;	David A. Reed, Senator from the State of Pennsylvania;
Hugh Gibson, Ambassadeur en Belgique;	Hugh Gibson, Ambassador to Belgium;
Dwight W. Morrow, Ambassadeur au Mexique;	Dwight W. Morrow, Ambassador to Mexico;
Le Président de la République Française :	The President of the French Republic :
M. André Tardieu, Député, Président du Conseil des Ministres, Ministre de l'Intérieur;	Mr. André Tardieu, Deputy, President of the Council of Ministers, Minister of the Interior;
M. Aristide Briand, Député, Ministre des Affaires Étrangères;	Mr. Aristide Briand, Deputy, Minister for Foreign Affairs;
M. Jacques-Louis Dumesnil, Député, Ministre de la Marine;	Mr. Jacques-Louis Dumesnil, Deputy, Minister of Marine;
M. François Piétri, Député, Ministre des Colonies;	Mr. François Piétri, Deputy, Minister of the Colonies;
M. Aimé-Joseph de Fleuriau, Ambassadeur de la République Française près la Cour de St. James;	Mr. Aimé-Joseph de Fleuriau, Ambassador of the French Republic at the Court of St. James;
Sa Majesté le Roi de Grande-Bretagne, d'Irlande et des Territoires Britanniques au delà des Mers. Empereur des Indes :	His Majesty the King of Great Britain, Ireland and the British Dominions beyond the Seas, Emperor of India :
pour la Grande-Bretagne et l'Irlande du Nord et toutes les parties de l'Empire Britannique qui ne sont pas individuellement Membres de la Société des Nations :	for Great Britain and Northern Ireland and all parts of the British Empire which are not separate Members of the League of Nations :
Le Très-Honorable James Ramsay MacDonald, M.P., Premier Lord de Sa Trésorerie et Premier Ministre;	The Right Honourable James Ramsay MacDonald, M.P., First Lord of His Treasury and Prime Minister;

Le Très-Honorable Arthur Henderson, M.P., Son Principal Secrétaire d'État pour les Affaires Étrangères;	The Right Honourable Arthur Henderson, M.P., His Principal Secretary of State for Foreign Affairs;
Le Très-Honorable Albert Victor Alexander, M.P., Premier Lord de Son Amirauté;	The Right Honourable Albert Victor Alexander, M.P., First Lord of His Admiralty;
Le Très-Honorable William Wedgwood Benn, D.S.O., D.F.C., M.P., Son Principal Secrétaire d'État pour l'Inde;	The Right Honourable William Wedgwood Benn, D.S.O., D.F.C., M.P., His Principal Secretary of State for India;
pour le Dominion du Canada :	for the Dominion of Canada :
Le Colonel Honorable James Layton Ralston, C.M.G., D.S.O., K.C., Membre de Son Conseil Privé du Canada, Son Ministre de la Défense Nationale;	Colonel The Honourable James Layton Ralston, C.M.G., D.S.O., K.C., a Member of His Privy Council for Canada, His Minister for National Defence;
L'Honorable Philippe Roy, Membre de Son Conseil Privé du Canada, Son Envoyé Extraordinaire et Ministre Plénipotentiaire en France pour le Dominion du Canada;	The Honourable Philippe Roy, a Member of His Privy Council for Canada, His Envoy Extraordinary and Minister Plenipotentiary in France for the Dominion of Canada;
pour le Commonwealth d'Australie :	for the Commonwealth of Australia :
L'Honorable James Edward Fenton, Son Ministre du Commerce et des Douanes;	The Honourable James Edward Fenton, His Minister for Trade and Customs;
pour le Dominion de la Nouvelle-Zélande :	for the Dominion of New Zealand :
M. Thomas Mason Wilford, K.C., Haut-Commissaire du Dominion de la Nouvelle-Zélande à Londres;	Thomas Mason Wilford, Esquire, K.C., High Commissioner for the Dominion of New Zealand in London;
pour l'Union de l'Afrique du Sud :	for the Union of South Africa :
M. Charles Theodore de Water, Haut-Commissaire de l'Union de l'Afrique du Sud à Londres;	Charles Theodore de Water, Esquire, High Commissioner for the Union of South Africa in London;

pour l'État Libre d'Irlande :	for the Irish Free State :
M. Timothy Aloysius Smiddy, Haut-Commissaire de l'État Libre d'Irlande à Londres;	Timothy Aloysius Smiddy, Esquire, High Commis- sioner for the Irish Free State in London;
pour l'Inde :	for India :
Sir Atul Chandra Chatterjee, K.C.I.E., Haut-Commis- saire de l'Inde à Londres;	Sir Atul Chandra Chatterjee, K.C.I.E., High Commis- sioner for India in London;
Sa Majesté le Roi d'Italie :	His Majesty the King of Italy :
L'Honorable Dino Grandi, Député, Son Ministre Sec- rétaire d'État pour les Affaires Étrangères;	The Honourable Dino Grandi, Deputy, His Minister Sec- retary of State for Foreign Affairs;
L'Amiral de Division Hono- rable Giuseppe Sirianni, Sénateur du Royaume, Son Ministre Secrétaire d'État pour la Marine;	Admiral of Division The Honourable Giuseppe Sirianni, Senator of the Kingdom, His Minister Secretary of State for Marine;
M. Antonio Chiamonte-Bor- donaro, Son Ambassadeur Extraordinaire et Plénipo- tentiaire près la Cour de St. James;	Mr. Antonio Chiamonte- Bordonaro, His Ambassador Extraordinary and Pleni- potentiary at the Court of St. James;
L'Amiral Honorable Baron Afredo Acton, Sénateur du Royaume;	Admiral The Honourable Baron Afredo Acton, Senator of the Kingdom;
Sa Majesté l'Empereur du Japon :	His Majesty the Emperor of Japan :
M. Reijiro Wakatsuki, Mem- bre de la Chambre des Pairs;	Mr. Reijiro Wakatsuki, Mem- ber of the House of Peers;
L'Amiral Takeshi Takarabe, Ministre de la Marine;	Admiral Takeshi Takarabe, Minister for the Navy;
M. Tsuneo Matsudaira, Son Ambassadeur Extraordinaire et Plénipotentiaire près la Cour de St. James;	Mr. Tsuneo Matsudaira, His Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary at the Court of St. James;

M. Matsuzo Nagai, Son Am-
bassadeur Extraordinaire et
Plénipotentiaire près Sa
Majesté le Roi des Belges;

Mr. Matsuzo Nagai, His Am-
bassador Extraordinary and
Plenipotentiary to His
Majesty the King of the
Belgians;

Lesquels, après s'être com-
munié leurs pleins pouvoirs,
reconnus en bonne et due forme,
sont convenus des dispositions
suivantes :

Who, having communicated to
one another their full powers,
found in good and due form,
have agreed as follows :

PARTIE I.

ARTICLE 1.

LES Hautes Parties Contrac-
tantes conviennent de ne pas
exercer, de 1931 à 1936 inclusive-
ment, leur droit de mettre sur
cale des bâtiments de ligne de
remplacement, prévu au Cha-
pitre II, Partie 3 du Traité pour
la Limitation des Armements
navals, signé entre elles à Wa-
shington le 6 février 1922 et
désigné dans le présent Traité
sous le nom de Traité de
Washington.

Cette disposition n'affecte pas
l'application de la clause rela-
tive au remplacement des bâti-
ments perdus ou détruits acci-
dentellement, énoncée au
Chapitre II, Partie 3, Section I,
paragraphe (c) dudit Traité.

La France et l'Italie pourront
cependant construire le tonnage
de remplacement qu'elles étaient
autorisées à mettre sur cale en
1927 et en 1929, conformément
aux dispositions dudit Traité.

ARTICLE 2.

1. Les États-Unis, le
Royaume-Uni de Grande Bre-
tagne et d'Irlande du Nord et le
Japon déclasseront les bâtiments

PART I.

ARTICLE 1.

THE High Contracting Parties
agree not to exercise their rights
to lay down the keels of capital
ship replacement tonnage
during the years 1931-1936
inclusive as provided in Chapter
II, Part 3 of the Treaty for the
Limitation of Naval Armament
signed between them at
Washington on the 6th February,
1922, and referred to in the
present Treaty as the Washing-
ton Treaty.

This provision is without pre-
judice to the disposition relating
to the replacement of ships
accidentally lost or destroyed
contained in Chapter II, Part 3,
Section I, paragraph (c) of the
said Treaty.

France and Italy may, how-
ever, build the replacement ton-
nage which they were entitled
to lay down in 1927 and 1929 in
accordance with the provisions of
the said Treaty.

ARTICLE 2.

1. The United States, the
United Kingdom of Great
Britain and Northern Ireland
and Japan shall dispose of the

de ligne suivants, ainsi qu'il est prescrit au présent Article :

États-Unis :

"Florida".
"Utah".
"Arkansas" ou "Wyoming".

Royaume-Uni :

"Benbow".
"Iron Duke".
"Marlborough".
"Emperor of India".
"Tiger".

Japon :

"Hiyei".

(a) Sous réserve des dispositions du sous-paragraphe (b), ces bâtiments, à moins qu'ils ne soient transformés pour servir exclusivement de cibles, en application du Chapitre II, Partie 2, paragraphe II (c) du Traité de Washington, seront détruits de la manière suivante :

L'un des bâtiments qui doivent être détruits par les États-Unis, et deux de ceux qui doivent l'être par le Royaume-Uni seront mis hors d'état de remplir un service de combat conformément au Chapitre II, Partie 2, paragraphe III (b) du Traité de Washington, dans les douze mois qui suivront l'entrée en vigueur du présent Traité. Ces bâtiments seront définitivement détruits, conformément au paragraphe II (a) ou (b) de la même Partie 2, dans les vingt-quatre mois qui suivront ladite entrée en vigueur. A l'égard du deuxième bâtiment qui sera détruit par les États-Unis et des troisième et quatrième bâtiments qui le seront par le Royaume-Uni, les susdits délais

following capital ships as provided in this Article :

United States :

"Florida".
"Utah".
"Arkansas" or "Wyoming".

United Kingdom :

"Benbow".
"Iron Duke".
"Marlborough".
"Emperor of India".
"Tiger".

Japan :

"Hiyei".

(a) Subject to the provisions of sub-paragraph (b), the above ships, unless converted to target use exclusively in accordance with Chapter II, Part 2, paragraph II (c) of the Washington Treaty, shall be scrapped in the following manner :

One of the ships to be scrapped by the United States, and two of those to be scrapped by the United Kingdom shall be rendered unfit for warlike service, in accordance with Chapter II, Part 2, paragraph III (b) of the Washington Treaty, within twelve months from the coming into force of the present Treaty. These ships shall be finally scrapped, in accordance with paragraph II (a) or (b) of the said Part 2, within twenty-four months from the said coming into force. In the case of the second of the ships to be scrapped by the United States, and of the third and fourth of the ships to be scrapped by the United Kingdom, the said periods shall be eighteen and

seront de dix-huit et de trente mois, respectivement, à compter de l'entrée en vigueur du présent Traité.

(b) Parmi les bâtiments à déclasser conformément au présent Article, les suivants pourront être conservés pour servir à l'instruction :

par les États-Unis : "Arkansas" ou "Wyoming".

par le Royaume-Uni : "Iron Duke".

Par le Japon : "Hiyei".

Ces navires seront mis dans l'état prescrit à la Section V de l'Annexe II à la Partie II du présent Traité. Les travaux nécessaires pour mettre ces bâtiments dans cet état commenceront, en ce qui concerne les États-Unis et le Royaume-Uni, dans les douze mois à compter de l'entrée en vigueur du présent Traité, et, en ce qui concerne le Japon, dans les dix-huit mois à compter de la même date; les travaux seront terminés dans les six mois qui suivront l'expiration des délais mentionnés ci-dessus.

Ceux de ces bâtiments qui ne sont pas conservés pour servir à l'instruction seront, dans les dix-huit mois, mis hors d'état de remplir un service de combat, et définitivement détruits dans les trente mois à compter de l'entrée en vigueur du présent Traité.

2. Sous réserve de tout déclassement de bâtiments de ligne que pourrait rendre nécessaire, conformément au Traité de Washington, la construction par la France et l'Italie du tonnage de remplacement visé

thirty months respectively from the coming into force of the present Treaty.

(b) Of the ships to be disposed of under this Article, the following may be retained for training purposes :

by the United States : "Arkansas" or "Wyoming".

by the United Kingdom : "Iron Duke".

by Japan : "Hiyei".

These ships shall be reduced to the condition prescribed in Section V of Annex II to Part II of the present Treaty. The work of reducing these vessels to the required condition shall begin, in the case of the United States and the United Kingdom, within twelve months, and in the case of Japan within eighteen months from the coming into force of the present Treaty; the work shall be completed within six months of the expiration of the above-mentioned periods.

Any of these ships which are not retained for training purposes shall be rendered unfit for warlike service within eighteen months, and finally scrapped within thirty months, of the coming into force of the present Treaty.

2. Subject to any disposal of capital ships which might be necessitated, in accordance with the Washington Treaty, by the building by France or Italy of the replacement tonnage referred to in Article 1 of the

à l'Article 1 du présent Traité, tous les bâtiments de ligne existants mentionnés au Chapitre II, Partie 3, Section II du Traité de Washington, et non désignés ci-dessus comme devant être déclassés, pourront être conservés pendant la durée d'application du présent Traité.

3. Le droit à remplacement n'est pas perdu du fait d'un retard dans la mise sur cale de bâtiments constituant le tonnage de remplacement, et l'ancien bâtiment peut être conservé jusqu'à remplacement, même si, aux termes du Chapitre II, Partie 3, Section II, du Traité de Washington, ce bâtiment devait être détruit.

ARTICLE 3.

1. Pour l'application du Traité de Washington, la définition du porte-aéronefs, donnée au Chapitre II, Partie 4 dudit Traité, est remplacée par la définition suivante :

L'expression "porte-aéronefs" comprend tout bâtiment de guerre de surface, quel qu'en soit le déplacement, spécifiquement et exclusivement conçu pour porter des aéronefs et construit de telle façon que des aéronefs puissent y prendre leur vol et s'y poser.

2. Le fait d'équiper d'une plateforme ou d'un pont d'envol ou d'atterrissage un bâtiment de ligne, un croiseur ou un destroyer, n'implique pas qu'un bâtiment ainsi équipé doive être compris ou classé dans la classe des porte-aéronefs, à moins que ce bâtiment ne soit conçu ou aménagé exclusivement pour servir de porte-aéronefs.

present Treaty, all existing capital ships mentioned in Chapter II, Part 3, Section II of the Washington Treaty and not designated above to be disposed of may be retained during the term of the present Treaty.

3. The right of replacement is not lost by delay in laying down replacement tonnage, and the old vessel may be retained until replaced even though due for scrapping under Chapter II, Part 3, Section II of the Washington Treaty.

ARTICLE 3.

1. For the purposes of the Washington Treaty, the definition of an aircraft carrier given in Chapter II, Part 4 of the said Treaty is hereby replaced by the following definition :

The expression "aircraft carrier" includes any surface vessel of war, whatever its displacement, designed for the specific and exclusive purpose of carrying aircraft and so constructed that aircraft can be launched therefrom and landed thereon.

2. The fitting of a landing-on or flying-off platform or deck on a capital ship, cruiser or destroyer, provided such vessel was not designed or adapted exclusively as an aircraft carrier, shall not cause any vessel so fitted to be charged against or classified in the category of aircraft carriers.

3. Aucun bâtiment de ligne existant au 1er avril 1930 ne sera équipé d'une plateforme ou d'un pont d'atterrissage.

3. No capital ship in existence on the 1st April, 1930, shall be fitted with a landing-on platform or deck.

ARTICLE 4.

1. Aucun porte-aéronefs d'un déplacement type de 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques) ou moins, et portant un canon d'un calibre supérieur à 155 millimètres (6,1 pouces), ne sera acquis par l'une des Hautes Parties Contractantes ou construit par elle ou pour elle.

2. A partir de l'entrée en vigueur du présent Traité pour toutes les Hautes Parties Contractantes, aucun porte-aéronefs d'un déplacement type de 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques) ou moins, et portant un canon d'un calibre supérieur à 155 millimètres (6,1 pouces) ne sera construit dans la juridiction de l'une des Hautes Parties Contractantes.

ARTICLE 4.

1. No aircraft carrier of 10,000 tons (10,160 metric tons) or less standard displacement mounting a gun above 6.1-inch (155 mm.) calibre shall be acquired by or constructed by or for any of the High Contracting Parties.

2. As from the coming into force of the present Treaty in respect of all the High Contracting Parties, no aircraft carrier of 10,000 tons (10,160 metric tons) or less standard displacement mounting a gun above 6.1-inch (155 mm.) calibre shall be constructed within the jurisdiction of any of the High Contracting Parties.

ARTICLE 5.

Le plan et la construction d'un porte-aéronefs ne doivent pas lui permettre de porter un armement plus puissant que celui qui est autorisé pour lui par l'Article IX ou l'Article X du Traité de Washington ou par l'Article 4 du présent Traité, suivant le cas.

Lorsque le calibre de 152 millimètres (6 pouces) est mentionné dans lesdits Articles IX et X, le calibre de 155 millimètres (6,1 pouces) doit lui être substitué.

ARTICLE 5.

An aircraft carrier must not be designed and constructed for carrying a more powerful armament than that authorised by Article IX or Article X of the Washington Treaty, or by Article 4 of the present Treaty, as the case may be.

Wherever in the said Articles IX and X the calibre of 6 inches (152 mm.) is mentioned, the calibre of 6.1 inches (155 mm.) is substituted therefor.

PARTIE II.

ARTICLE 6.

1. Les règles énoncées au Chapitre II, Partie 4 du Traité de Washington pour la détermination du déplacement type s'appliqueront à tous les bâtiments de guerre de surface de chacune des Hautes Parties Contractantes.

2. Le déplacement type d'un sous-marin est le déplacement en surface du bâtiment achevé (non compris l'eau des compartiments non étanches) avec son équipage complet, son appareil moteur, prêt à prendre la mer, ayant tout son armement et toutes ses munitions, ses installations, équipements, vivres pour l'équipage, outillages divers et rechanges de toute nature qu'il doit emporter en temps de guerre, mais sans combustible, huile lubrifiante, eau douce ou eau de ballast de toute sorte.

3. Le déplacement de chaque bâtiment combattant de la flotte militaire est évalué lorsque ce bâtiment se trouve dans les conditions type. Le mot "tonne", sauf dans l'expression "tonnes métriques", désigne une tonne de 1.016 kilogrammes (2.240 lbs.).

ARTICLE 7.

1. Aucun sous-marin de déplacement type supérieur à 2.000 tonnes (2.032 tonnes métriques) ou armé d'un canon d'un calibre supérieur à 130 millimètres (5.1 pouces) ne sera acquis par l'une des Hautes Parties Contractantes ou construit par elle ou pour elle.

2. Chacune des Hautes Parties Contractantes peut, toutefois, conserver, construire ou acquérir un nombre maximum de trois

PART II.

ARTICLE 6.

1. The rules for determining standard displacement prescribed in Chapter II, Part 4 of the Washington Treaty shall apply to all surface vessels of war of each of the High Contracting Parties.

2. The standard displacement of a submarine is the surface displacement of the vessel complete (exclusive of the water in non-watertight structure) fully manned, engined, and equipped ready for sea, including all armament and ammunition, equipment, outfit, provisions for crew, miscellaneous stores, and implements of every description that are intended to be carried in war, but without fuel, lubricating oil, fresh water or ballast water of any kind on board.

3. Each naval combatant vessel shall be rated at its displacement tonnage when in the standard condition. The word "ton", except in the expression "metric tons", shall be understood to be the ton of 2,240 pounds (1,016 kilos.).

ARTICLE 7.

1. No submarine the standard displacement of which exceeds 2,000 tons (2,032 metric tons) or with a gun above 5.1-inch (130 mm.) calibre shall be acquired by or constructed by or for any of the High Contracting Parties.

2. Each of the High Contracting Parties may, however, retain, build or acquire a maximum number of three submarines of

sous-marins d'un déplacement type n'excédant pas 2.800 tonnes (2.845 tonnes métriques); ces sous-marins peuvent porter une artillerie d'un calibre ne dépassant pas 155 millimètres (6.1 pouces). Dans ce nombre, la France peut conserver une unité déjà lancée de 2.880 tonnes (2.926 tonnes métriques) portant une artillerie d'un calibre de 203 millimètres (8 pouces).

3. Les Hautes Parties Contractantes peuvent conserver les sous-marins qu'elles possédaient au 1er avril 1930, dont le déplacement type n'excède pas 2.000 tonnes (2.032 tonnes métriques) et dont le calibre de l'artillerie dépasse 130 millimètres (5.1 pouces).

4. A partir de l'entrée en vigueur du présent Traité pour toutes les Hautes Parties Contractantes, aucun sous-marin de déplacement type supérieur à 2.000 tonnes (2.032 tonnes métriques) ou armé d'un canon d'un calibre supérieur à 130 millimètres (5.1 pouces) ne sera construit dans la juridiction de l'une des Hautes Parties Contractantes, sous réserve des dispositions du paragraphe 2 du présent Article.

ARTICLE 8.

Sous réserve d'accords spéciaux qui les soumettraient à une limitation, les bâtiments ci-après n'y sont pas sujets :

(a) les bâtiments combattants de surface de la flotte militaire dont le déplacement type est égal ou inférieur à 600 tonnes (610 tonnes métriques);

(b) les bâtiments combattants de surface de la flotte militaire dont le déplacement type dépasse 600 tonnes (610

a standard displacement not exceeding 2,800 tons (2,845 metric tons); these submarines may carry guns not above 6.1-inch (155 mm.) calibre. Within this number, France may retain one unit, already launched, of 2,880 tons (2,926 metric tons), with guns the calibre of which is 8 inches (203 mm.).

3. The High Contracting Parties may retain the submarines which they possessed on the 1st April, 1930, having a standard displacement not in excess of 2,000 tons (2,032 metric tons) and armed with guns above 5.1-inch (130 mm.) calibre.

4. As from the coming into force of the present Treaty in respect of all the High Contracting Parties, no submarine the standard displacement of which exceeds 2,000 tons (2,032 metric tons) or with a gun above 5.1-inch (130 mm.) calibre shall be constructed within the jurisdiction of any of the High Contracting Parties, except as provided in paragraph 2 of this Article.

ARTICLE 8.

Subject to any special agreements which may submit them to limitation, the following vessels are exempt from limitation :

(a) naval surface combatant vessels of 600 tons (610 metric tons) standard displacement and under;

(b) naval surface combatant vessels exceeding 600 tons (610 metric tons), but not exceeding 2,000 tons (2,032 metric tons)

tonnes métriques), mais ne dépasse pas 2.000 tonnes (2.032 tonnes métriques), à condition qu'ils n'aient aucune des caractéristiques suivantes :

- (1) être armé d'une pièce d'un calibre supérieur à 155 millimètres (6,1 pouces);
- (2) être armé de plus de quatre pièces d'un calibre supérieur à 76 millimètres (3 pouces);

(3) être conçu ou équipé pour lancer des torpilles;

(4) être conçu pour une vitesse supérieure à vingt nœuds.

(c) les bâtiments de surface de la flotte militaire qui, n'étant pas spécifiquement construits comme navires combattants, sont utilisés pour le service de la flotte, ou comme transports de troupes, ou pour tout emploi autre que celui de navire combattant, à condition qu'ils n'aient aucune des caractéristiques suivantes :

- (1) être armé d'une pièce d'un calibre supérieur à 155 millimètres (6,1 pouces);
- (2) être armé de plus de quatre pièces d'un calibre supérieur à 76 millimètres (3 pouces);

(3) être conçu ou équipé pour lancer des torpilles;

(4) être conçu pour une vitesse supérieure à vingt nœuds;

(5) être protégé par des plaques de blindage;

(6) être conçu ou équipé pour mouiller des mines;

(7) être équipé pour l'atterrissage d'aéronefs à bord;

(8) avoir à bord plus d'un appareil pour lancer des aéronefs, si cet appareil est placé dans l'axe du bâtiment, ou plus de deux, si ces appareils sont placés un de chaque bord;

standard displacement, provided they have none of the following characteristics :

- (1) mount a gun above 6.1-inch (155 mm.) calibre;

- (2) mount more than four guns above 3-inch (76 mm.) calibre;

(3) are designed or fitted to launch torpedoes;

(4) are designed for a speed greater than twenty knots.

(c) naval surface vessels not specifically built as fighting ships which are employed on fleet duties or as troop transports or in some other way than as fighting ships, provided they have none of the following characteristics :

- (1) mount a gun above 6.1-inch (155 mm.) calibre;

- (2) mount more than four guns above 3-inch (76 mm.) calibre;

(3) are designed or fitted to launch torpedoes;

(4) are designed for a speed greater than twenty knots;

(5) are protected by armour plate;

(6) are designed or fitted to launch mines;

(7) are fitted to receive aircraft on board from the air;

(8) mount more than one aircraft-launching apparatus on the centre line; or two, one on each broadside;

(9) étant équipé d'un moyen quelconque de lancement des aéronefs dans l'air, être conçu ou aménagé pour mettre en action en mer plus de trois aéronefs.

(9) if fitted with any means of launching aircraft into the air, are designed or adapted to operate at sea more than three aircraft.

ARTICLE 9.

Les règles de remplacement énoncées à l'Annexe I de la présente Partie II sont applicables aux bâtiments de guerre dont le déplacement type ne dépasse pas 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques). Il est fait exception pour les porte-aéronefs, leur remplacement étant régi par le Traité de Washington.

ARTICLE 9.

The rules as to replacement contained in Annex I to this Part II are applicable to vessels of war not exceeding 10,000 tons (10,160 metric tons) standard displacement, with the exception of aircraft carriers, whose replacement is governed by the provisions of the Washington Treaty.

ARTICLE 10.

Dans le mois qui suivra respectivement la date de mise sur cale et la date d'achèvement, les Hautes Parties Contractantes se communiqueront mutuellement tous les renseignements indiqués ci-dessous au sujet de tous bâtiments de guerre mis sur cale ou achevés par elles ou pour elles après l'entrée en vigueur du présent Traité, à l'exception des bâtiments de ligne, des porte-aéronefs et des bâtiments qui sont exempts de limitation conformément à l'Article 8 :

(a) la date de la mise sur cale avec les indications suivantes :

- classification du bâtiment;
- déplacement type en tonnes et en tonnes métriques;
- dimensions principales, à savoir : longueur à la ligne de flottaison, largeur maxima à ou sous la ligne de flottaison;
- tirant d'eau moyen correspondant au déplacement type;
- calibre du plus gros canon.

ARTICLE 10.

Within one month after the date of laying down and the date of completion respectively of each vessel of war, other than capital ships, aircraft carriers and the vessels exempt from limitation under Article 8, laid down or completed by or for them after the coming into force of the present Treaty, the High Contracting Parties shall communicate to each of the other High Contracting Parties the information detailed below :

(a) the date of laying the keel and the following particulars :

- classification of the vessel;
- standard displacement in tons and metric tons;
- principal dimensions, namely : length at water-line, extreme beam at or below water-line;
- mean draft at standard displacement;
- calibre of the largest gun.

(b) la date d'achèvement ainsi que les indications qui précèdent, relatives au bâtiment à cette date.

Les renseignements à fournir pour les bâtiments de ligne et les porte-aéronefs sont régis par le Traité de Washington.

ARTICLE 11.

Sous réserve des dispositions de l'Article 2 du présent Traité, les règles de déclassement contenues dans l'Annexe II à la présente Partie II s'appliqueront à tous les bâtiments de guerre à déclasser en vertu dudit Traité, ainsi qu'aux porte-aéronefs définis à l'Article 3.

ARTICLE 12.

1. Sous réserve de tous accords supplémentaires qui pourraient modifier entre les Hautes Parties Contractantes intéressées les listes figurant à l'Annexe III à la présente Partie II, les bâtiments spéciaux indiqués à ladite Annexe pourront être conservés et leur tonnage ne sera pas compris dans le tonnage limitable.

2. Tout autre bâtiment construit, transformé ou acquis pour les fins en vue desquelles les bâtiments spéciaux sont conservés sera imputé sur le tonnage de la classe combattante appropriée, suivant les caractéristiques du bâtiment, à moins que celui-ci ne soit conforme aux caractéristiques des bâtiments non sujets à limitation en vertu de l'Article 8.

3. Le Japon peut toutefois remplacer les mouilleurs de mines "Aso" et "Tokiwa" par deux nouveaux mouilleurs

(b) the date of completion together with the foregoing particulars relating to the vessel at that date.

The information to be given in the case of capital ships and aircraft carriers is governed by the Washington Treaty.

ARTICLE 11.

Subject to the provisions of Article 2 of the present Treaty, the rules for disposal contained in Annex II to this Part II shall be applied to all vessels of war to be disposed of under the said Treaty, and to aircraft carriers as defined in Article 3.

ARTICLE 12.

1. Subject to any supplementary agreements which may modify, as between the High Contracting Parties concerned, the lists in Annex III to this Part II, the special vessels shown therein may be retained and their tonnage shall not be included in the tonnage subject to limitation.

2. Any other vessel constructed, adapted or acquired to serve the purposes for which these special vessels are retained shall be charged against the tonnage of the appropriate combatant category, according to the characteristics of the vessel, unless such vessel conforms to the characteristics of vessels exempt from limitation under Article 8.

3. Japan may, however, replace the minelayers "Aso" and "Tokiwa" by two new minelayers before the 31st December,

de mines avant le 31 décembre 1936. Le déplacement type des nouveaux bâtiments n'excédera pas 5.000 tonnes (5.080 tonnes métriques); leur vitesse ne sera pas supérieure à vingt nœuds, et leurs autres caractéristiques seront conformes à celles qui sont définies au paragraphe (b) de l'Article 8. Les nouveaux bâtiments seront considérés comme des bâtiments spéciaux et leur tonnage ne sera compris dans le tonnage d'aucune des catégories combattantes. L'"Aso" et le "Tokiwa" seront déclassés, conformément à la Section I ou à la Section II de l'Annexe II à la présente Partie II, lors de l'achèvement des bâtiments de remplacement.

4. Les bâtiments "Asama", "Yakumo", "Izumo", "Iwate" et "Kasuga" seront déclassés conformément à la Section I ou à la Section II de l'Annexe II à la présente Partie II, quand les trois premiers bâtiments du type "Kuma" auront été remplacés par des bâtiments nouveaux. Ces trois bâtiments du type "Kuma" seront mis dans l'état prescrit au sous-paragraphe (b) 2 de la Section V de l'Annexe II à la présente Partie II; ils seront employés comme bâtiments-écoles et, dans la suite, leur tonnage ne sera pas compris dans le tonnage limitable.

ARTICLE 13.

Les bâtiments existants de différents types qui, avant le 1er avril 1930, étaient utilisés comme établissements fixes d'instruction ou comme pontons peuvent être conservés dans un état qui ne leur permette pas de prendre la mer.

1936. The standard displacement of each of the new vessels shall not exceed 5,000 tons (5,080 metric tons); their speed shall not exceed twenty knots, and their other characteristics shall conform to the provisions of paragraph (b) of Article 8. The new vessels shall be regarded as special vessels and their tonnage shall not be chargeable to the tonnage of any combatant category. The "Aso" and "Tokiwa" shall be disposed of in accordance with Section I or II of Annex II to this Part II, on completion of the replacement vessels.

4. The "Asama", "Yakumo", "Izumo", "Iwate" and "Kasuga" shall be disposed of in accordance with Section I or II of Annex II to this Part II when the first three vessels of the "Kuma" class have been replaced by new vessels. These three vessels of the "Kuma" class shall be reduced to the condition prescribed in Section V, sub-paragraph (b) 2 of Annex II to this Part II, and are to be used for training ships, and their tonnage shall not thereafter be included in the tonnage subject to limitation.

ARTICLE 13.

Existing ships of various types, which, prior to the 1st April, 1930, have been used as stationary training establishments or hulks, may be retained in a non-seagoing condition.

ANNEXE I.

Règles de remplacement.

Section I.—Sauf dans les cas prévus à la Section III de la présente Annexe et à la Partie III du présent Traité, un bâtiment ne doit pas être remplacé avant qu'il ne devienne "hors d'âge". Un bâtiment est considéré comme étant "hors d'âge" lorsque le nombre d'années indiqué ci-dessous s'est écoulé depuis la date de son achèvement :

(a) Bâtiment de surface de plus de 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques), mais n'excédant pas 10.000 tonnes (10.160 tonnes métriques) de déplacement type :

- (i) s'il a été mis sur cale avant le 1er janvier 1920 : 16 ans;
- (ii) s'il a été mis sur cale après le 31 décembre 1919 : 20 ans.

(b) Bâtiment de surface n'excédant pas 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques) de déplacement type :

- (i) s'il a été mis sur cale avant le 1er janvier 1921 : 12 ans;
- (ii) s'il a été mis sur cale après le 31 décembre 1920 : 16 ans.

(c) Sous-marin : 13 ans.

Les bâtiments constituant le tonnage de remplacement ne doivent pas être mis sur cale plus de trois ans avant l'année au cours de laquelle le bâtiment à remplacer deviendra "hors d'âge"; mais ce délai est réduit à deux ans pour les bâtiments de surface de remplacement ne dépassant pas 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques) de déplacement type.

Le droit à remplacement n'est pas perdu du fait d'un retard dans la mise sur cale de bâtiments constituant le tonnage de remplacement.

Section II.—Sous réserve de dispositions contraires du présent Traité, le ou les bâtiments dont la conservation provoquerait un excédent par rapport au tonnage maximum autorisé pour leur classe seront, lors de l'achèvement ou de l'acquisition du ou des bâtiments constituant le tonnage de remplacement, déclassés en application des dispositions de l'Annexe II à la présente Partie II.

Section III.—Dans le cas de perte ou de destruction accidentelle, un bâtiment pourra être remplacé immédiatement.

ANNEX I.

Rules for replacement.

Section I.—Except as provided in Section III of this Annex and Part III of the present Treaty, a vessel shall not be replaced before it becomes "over-age". A vessel shall be deemed to be "over-age" when the following number of years have elapsed since the date of its completion :

(a) For a surface vessel exceeding 3,000 tons (3,048 metric tons) but not exceeding 10,000 tons (10,160 metric tons) standard displacement :

- (i) if laid down before the 1st January, 1920 : 16 years;
- (ii) if laid down after the 31st December, 1919 : 20 years.

(b) For a surface vessel not exceeding 3,000 tons (3,048 metric tons) standard displacement :

- (i) if laid down before the 1st January, 1921 : 12 years;
- (ii) if laid down after the 31st December, 1920 : 16 years.

(c) For a submarine : 13 years.

The keels of replacement tonnage shall not be laid down more than three years before the year in which the vessel to be replaced becomes "over-age"; but this period is reduced to two years in the case of any replacement surface vessel not exceeding 3,000 tons (3,048 metric tons) standard displacement.

The right of replacement is not lost by delay in laying down replacement tonnage.

Section II.—Except as otherwise provided in the present Treaty, the vessel or vessels, whose retention would cause the maximum tonnage permitted in the category to be exceeded, shall, on the completion or acquisition of replacement tonnage, be disposed of in accordance with Annex II to this Part II.

Section III.—In the event of loss or accidental destruction a vessel may be immediately replaced.

ANNEXE II.

Règles de déclassement des Bâtiments de Guerre.

Le présent Traité prévoit pour le déclassement des bâtiments de guerre les procédés suivants :

- (i) destruction (par submersion ou démolition);
- (ii) transformation du bâtiment en ponton;
- (iii) transformation du bâtiment pour l'usage exclusif de cible;
- (iv) conservation du bâtiment pour le faire servir exclusivement à des expériences;
- (v) conservation du bâtiment pour le faire servir exclusivement à l'instruction.

Tout bâtiment de guerre à déclasser, autre qu'un bâtiment de ligne, peut être soit détruit, soit transformé en ponton à la volonté de la Haute Partie Contractante intéressée.

Tout bâtiment de guerre, autre qu'un bâtiment de ligne, conservé comme cible, bâtiment d'expérience ou bâtiment d'instruction, doit finalement être détruit ou transformé en ponton.

Section I.—Bâtiments à détruire.

(a) Un bâtiment à détruire en raison de son remplacement devra être mis hors d'état de remplir un service de combat dans les six mois qui suivront la date d'achèvement du bâtiment de remplacement, ou du premier des bâtiments de remplacement, s'il doit être remplacé par plus d'un bâtiment. Si, cependant, l'achèvement du nouveau ou des nouveaux bâtiments est retardé, les opérations nécessaires pour mettre le vieux bâtiment hors d'état de remplir un service de combat devront néanmoins être terminées dans les quatre ans et demi qui suivront la date de la mise sur cale du nouveau bâtiment ou du premier des nouveaux bâtiments; mais, si le nouveau ou l'un des nouveaux bâtiments est un bâtiment de surface dont le déplacement type ne dépasse pas 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques), ce délai sera réduit à trois ans et demi.

(b) Un bâtiment à détruire devra être considéré comme hors d'état de remplir un service de combat

ANNEX II.

Rules for disposal of Vessels of War.

The present Treaty provides for the disposal of vessels of war in the following ways :

- (i) by scrapping (sinking or breaking up);
- (ii) by converting the vessel to a hulk;
- (iii) by converting the vessel to target use exclusively;
- (iv) by retaining the vessel exclusively for experimental purposes;
- (v) by retaining the vessel exclusively for training purposes.

Any vessel of war to be disposed of, other than a capital ship, may either be scrapped or converted to a hulk at the option of the High Contracting Party concerned.

Vessels, other than capital ships, which have been retained for target, experimental or training purposes, shall finally be scrapped or converted to hulks.

Section I.—Vessels to be scrapped.

(a) A vessel to be disposed of by scrapping, by reason of its replacement, must be rendered incapable of warlike service within six months of the date of the completion of its successor, or of the first of its successors if there are more than one. If, however, the completion of the new vessel or vessels be delayed, the work of rendering the old vessel incapable of warlike service shall, nevertheless, be completed within four and a half years from the date of laying the keel of the new vessel, or of the first of the new vessels; but should the new vessel, or any of the new vessels, be a surface vessel not exceeding 3,000 tons (3,048 metric tons) standard displacement, this period is reduced to three and a half years.

(b) A vessel to be scrapped shall be considered incapable of warlike service when there shall have been

lorsqu'on aura enlevé et mis à terre ou détruit à bord :

(1) tous les canons et parties essentielles de canons, les hunes de direction de tir et les parties tournantes des tourelles barbettes et fermées;

(2) toute la machinerie hydraulique ou électrique de manœuvre des tourelles;

(3) tous les instruments et les télémètres de direction de tir;

(4) toutes les munitions, les explosifs, les mines et les rails pour mines;

(5) toutes les torpilles, les cônes de charge, les tubes lance-torpilles et les circulaires de pointage;

(6) toutes les installations de télégraphie sans fil;

(7) tout l'appareil moteur principal ou, si l'on préfère, le blockhaus blindé et toute la cuirasse de flanc;

(8) toutes les grues, mâts de charge, ascenseurs et appareils de lancement pour aéronefs. Tous les ponts et plateformes d'atterrissage ou d'envol, ou, si l'on préfère, tout l'appareil moteur principal;

(9) en outre, dans le cas des sous-marins, toutes batteries principales d'accumulateurs, compresseurs d'air avec leurs installations et pompes de ballast.

(c) La destruction devra être définitivement effectuée de l'une ou l'autre des manières suivantes dans les douze mois qui suivront la date à laquelle le travail nécessaire pour mettre le bâtiment hors d'état de remplir un service de combat doit être terminé :

(1) submersion du bâtiment sans possibilité de renflouement;

(2) démolition; cette opération devra toujours comprendre la destruction ou l'enlèvement de toutes machines, chaudières, cuirasses, ainsi que de tout le bordé de pont, de flanc et de fond.

Section II.—Bâtiments à transformer en pontons.

Un bâtiment à déclasser par transformation en ponton devra être considéré comme définitivement déclassé quand les conditions prescrites à la Section I, paragraphe (b), auront été remplies, sauf celles qui sont énoncées dans les sous-paragraphe (6), (7) et (8), et

removed and landed or else destroyed in the ship :

(1) all guns and essential parts of guns, fire control tops and revolving parts of all barbetstes and turrets;

(2) all hydraulic or electric machinery for operating turrets;

(3) all fire control instruments and rangefinders;

(4) all ammunition, explosives, mines and mine rails;

(5) all torpedoes, war heads, torpedo tubes and training racks;

(6) all wireless telegraphy installations;

(7) all main propelling machinery, or alternatively the armoured conning tower and all side armour plate;

(8) all aircraft cranes, derricks, lifts and launching apparatus. All landing-on or flying-off platforms and decks, or alternatively all main propelling machinery;

(9) in addition, in the case of submarines, all main storage batteries, air compressor plants and ballast pumps.

(c) Scrapping shall be finally effected in either of the following ways within twelve months of the date on which the work of rendering the vessel incapable of warlike service is due for completion :

(1) permanent sinking of the vessel;

(2) breaking the vessel up; this shall always include the destruction or removal of all machinery, boilers and armour, and all deck, side and bottom plating.

Section II.—Vessels to be converted to hulks.

A vessel to be disposed of by conversion to a hulk shall be considered finally disposed of when the conditions prescribed in Section I, paragraph (b), have been complied with, omitting sub-paragraphs (6), (7) and (8), and when the following have been effected :

quand les opérations suivantes auront été effectuées :

(1) mise hors d'usage définitive de tous les arbres porte-hélices, paliers de butée, réducteurs de turbines ou moteurs de propulsion principaux et turbines ou cylindres des machines principales;

(2) enlèvement des chaises d'hélices;

(3) enlèvement et démolition de tous ascenseurs pour aéronefs et enlèvement de toutes grues, mâts de charge et appareils de lancement pour aéronefs.

Le bâtiment devra être mis dans l'état ci-dessus dans les mêmes limites de temps que celles qui sont prévues à la Section I pour mettre un bâtiment hors d'état de remplir un service de combat.

Section III.—Bâtiments à transformer pour servir de cibles.

(a) Un bâtiment à déclasser par transformation pour l'usage exclusif de cible sera considéré comme hors d'état de remplir un service de combat quand on aura enlevé et mis à terre, ou détruit à bord du navire :

(1) tous les canons;

(2) toutes les hunes de direction de tir, les instruments et les principaux câbles des transmissions de direction de tir;

(3) toute la machinerie qui sert à actionner les affûts ou les tourelles;

(4) toutes les munitions, les explosifs, les mines, les torpilles et tubes lance-torpilles;

(5) toutes les installations d'aviation et leurs accessoires de toutes sortes.

Le bâtiment devra être mis dans l'état ci-dessus dans les mêmes limites de temps que celles qui sont prévues à la Section I pour mettre un bâtiment hors d'état de remplir un service de combat.

(b) En plus des droits qu'elle possède en vertu du Traité de Washington, chacune des Hautes Parties Contractantes est autorisée à conserver simultanément pour les utiliser exclusivement comme cibles :

(1) au plus trois bâtiments (croiseurs ou destroyers),

(1) mutilation beyond repair of all propeller shafts, thrust blocks, turbine gearing or main propelling motors, and turbines or cylinders of main engines;

(2) removal of propeller brackets;

(3) removal and breaking up of all aircraft lifts, and the removal of all aircraft cranes, derricks and launching apparatus.

The vessel must be put in the above condition within the same limits of time as provided in Section I for rendering a vessel incapable of warlike service.

Section III.—Vessels to be converted to target use.

(a) A vessel to be disposed of by conversion to target use exclusively shall be considered incapable of warlike service when there have been removed and landed, or rendered unserviceable on board, the following :

(1) all guns;

(2) all fire control tops and instruments and main fire control communication wiring;

(3) all machinery for operating gun mountings or turrets;

(4) all ammunition, explosives, mines, torpedoes and torpedo tubes;

(5) all aviation facilities and accessories.

The vessel must be put into the above condition within the same limits of time as provided in Section I for rendering a vessel incapable of warlike service.

(b) In addition to the rights already possessed by each High Contracting Party under the Washington Treaty, each High Contracting Party is permitted to retain, for target use exclusively, at any one time :

(1) not more than three vessels (cruisers or destroyers), but

mais, de ces trois bâtiments, un seul pourra dépasser le déplacement type de 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques);

(2) un sous-marin.

(c) La Haute Partie Contractante intéressée s'engage à ne pas remettre en état de remplir un service de combat un bâtiment conservé pour être utilisé comme cible.

Section IV.—Bâtiments à conserver pour servir à des expériences.

(a) Un bâtiment à déclasser en le transformant pour servir exclusivement à des expériences subira le traitement prévu à la Section III (a) de la présente Annexe.

(b) Sans préjudice des règles générales, et pourvu que l'avis en soit dûment donné aux autres Hautes Parties Contractantes, des dérogations raisonnables aux conditions prescrites à la Section III (a) de la présente Annexe, dans la mesure où elles seront nécessaires pour les besoins d'une expérience spéciale, pourront être admises à titre de mesure temporaire.

Toute Haute Partie Contractante qui voudra bénéficier de cette disposition sera tenue de fournir des détails complets sur toutes dérogations de ce genre et d'indiquer la durée pour laquelle ces dérogations seront nécessaires.

(c) Chacune des Hautes Parties Contractantes est autorisée à conserver simultanément pour servir exclusivement à des expériences:

(1) au plus deux bâtiments (croiseurs ou destroyers), mais, de ces deux bâtiments, un seul pourra dépasser le déplacement type de 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques);

(2) un sous-marin.

(d) Le Royaume-Uni est autorisé à conserver dans leur état actuel le monitor "Roberts", dont l'artillerie principale avec ses appareils de manœuvre a été définitivement mise hors d'usage, et le transport d'hydravions "Ark Royal", tant qu'ils seront nécessaires pour servir à des expériences. La conservation de ces deux bâtiments n'affecte pas la conservation des bâtiments que permet le paragraphe (c) ci-dessus.

of these three vessels only one may exceed 3,000 tons (3,048 metric tons) standard displacement;

(2) one submarine.

(c) On retaining a vessel for target use, the High Contracting Party concerned undertakes not to recondition it for warlike service.

Section IV.—Vessels retained for experimental purposes.

(a) A vessel to be disposed of by conversion to experimental purposes exclusively shall be dealt with in accordance with the provisions of Section III (a) of this Annex.

(b) Without prejudice to the general rules, and provided that due notice be given to the other High Contracting Parties, reasonable variation from the conditions prescribed in Section III (a) of this Annex, in so far as may be necessary for the purposes of a special experiment, may be permitted as a temporary measure.

Any High Contracting Party taking advantage of this provision is required to furnish full details of any such variations and the period for which they will be required.

(c) Each High Contracting Party is permitted to retain for experimental purposes exclusively at any one time:

(1) not more than two vessels (cruisers or destroyers), but of these two vessels only one may exceed 3,000 tons (3,048 metric tons) standard displacement;

(2) one submarine.

(d) The United Kingdom is allowed to retain, in their present conditions, the monitor "Roberts", the main armament guns and mountings of which have been mutilated, and the seaplane carrier "Ark Royal", until no longer required for experimental purposes. The retention of these two vessels is without prejudice to the retention of vessels permitted under (c) above.

(e) La Haute Partie Contractante intéressée s'engage à ne pas remettre en état de remplir un service de combat un bâtiment conservé pour ces usages.

Section V.—Bâtiments à conserver pour l'instruction.

(a) En plus des droits qu'elle possède déjà en vertu du Traité de Washington, chacune des Hautes Parties Contractantes est autorisée à conserver, exclusivement pour l'instruction, les bâtiments suivants:

Etats-Unis: 1 bâtiment de ligne ("Arkansas" ou "Wyoming");
France: 2 bâtiments de surface, dont l'un pourra dépasser le déplacement type de 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques);
Royaume-Uni: 1 bâtiment de ligne ("Iron Duke");
Italie: 2 bâtiments de surface, dont l'un pourra dépasser le déplacement type de 3.000 tonnes (3.048 tonnes métriques);
Japon: 1 bâtiment de ligne ("Hiyei"), 3 croiseurs (type "Kuma").

(b) Les bâtiments conservés pour l'instruction en vertu des dispositions du paragraphe (a) devront subir le traitement suivant dans les six mois à partir de la date à laquelle ils doivent être déclassés:

1. Bâtiments de ligne.

Les mesures suivantes devront être prises:

(1) enlèvement des canons de l'artillerie principale, des parties tournantes de toutes les tourelles barbettes et fermées, et de la machinerie qui les actionne, mais trois tourelles avec leur armement pourront être conservées sur chaque bâtiment;

(2) enlèvement de toutes les munitions et explosifs dépassant la quantité nécessaire pour les écoles à feu des canons conservés à bord;

(3) enlèvement du blockhaus et de la cuirasse de flanc entre les tourelles extrême-avant et extrême-arrière;

(4) enlèvement ou mise définitive hors d'usage de tous les tubes lance-torpilles;

(5) enlèvement ou mise définitive hors d'usage à bord du nombre de

(e) On retaining a vessel for experimental purposes the High Contracting Party concerned undertakes not to recondition it for warlike service.

Section V.—Vessels retained for training purposes.

(a) In addition to the rights already possessed by any High Contracting Party under the Washington Treaty, each High Contracting Party is permitted to retain for training purposes exclusively the following vessels:

United States: 1 capital ship ("Arkansas" or "Wyoming");
France: 2 surface vessels, one of which may exceed 3,000 tons (3,048 metric tons) standard displacement;
United Kingdom: 1 capital ship ("Iron Duke");
Italy: 2 surface vessels, one of which may exceed 3,000 tons (3,048 metric tons) standard displacement;
Japan: 1 capital ship ("Hiyei"), 3 cruisers ("Kuma" class).

(b) Vessels retained for training purposes under the provisions of paragraph (a) shall, within six months of the date on which they are required to be disposed of, be dealt with as follows:

1. Capital Ships.

The following is to be carried out:

(1) removal of main armament guns, revolving parts of all barbettes and turrets; machinery for operating turrets; but three turrets with their armament may be retained in each ship;

(2) removal of all ammunition and explosives in excess of the quantity required for target practice training for the guns remaining on board;

(3) removal of conning tower and the side armour belt between the foremost and aftermost barbettes;

(4) removal or mutilation of all torpedo tubes;

(5) removal or mutilation on board of all boilers in excess of the

chaudières dépassant celui qui est nécessaire pour donner la vitesse maximum de dix-huit nœuds.

2. Autres bâtiments de surface conservés par la France, l'Italie et le Japon.

Les mesures suivantes devront être prises :

(1) enlèvement de la moitié des canons; cependant quatre canons de l'artillerie principale pourront être conservés sur chaque bâtiment;

(2) enlèvement de tous les tubes lance-torpilles;

(3) enlèvement de toutes les installations d'aviation avec leurs accessoires;

(4) enlèvement de la moitié des chaudières.

(c) La Haute Partie Contractante intéressée s'engage à ne pas utiliser pour des fins de combat les bâtiments conservés en application des dispositions de la présente Section.

number required for a maximum speed of eighteen knots.

2. Other surface vessels retained by France, Italy and Japan.

The following is to be carried out :

(1) removal of one half of the guns, but four guns of main calibre may be retained on each vessel;

(2) removal of all torpedo tubes;

(3) removal of all aviation facilities and accessories;

(4) removal of one half of the boilers.

(c) The High Contracting Party concerned undertakes that vessels retained in accordance with the provisions of this Section shall not be used for any combatant purpose.

ANNEXE III.

Bâtiments spéciaux.

ETATS-UNIS.

Nom et type du bâtiment.	Déplacement. Tonnes.
Aroostook — Mouilleur de mines ...	4.950
Oglala — Mouilleur de mines ...	4.950
Baltimore — Mouilleur de mines ...	4.413
San Francisco — Mouilleur de mines ...	4.083
Cheyenne — Monitor ...	2.800
Helona — Canonnière ...	1.392
Isabel — Yacht ...	938
Niagara — Yacht ...	2.600
Bridgeport — Bâtiment-dépôt pour torpilleurs ...	11.750
Dobbin — Bâtiment-dépôt pour torpilleurs ...	12.450
Melville — Bâtiment-dépôt pour torpilleurs ...	7.150
Whitney — Bâtiment-dépôt pour torpilleurs ...	12.450
Holland — Bâtiment-dépôt pour sous-marins ...	11.570
Henderson — Transport de la flotte ...	10.000
	<u>91.496</u>

ANNEX III.

Special vessels.

UNITED STATES.

Name and type of vessel.	Displacement. Tons.
Aroostook — Minelayer	4,950
Oglala — Minelayer	4,950
Baltimore — Minelayer	4,413
San Francisco — Minelayer	4,083
Cheyenne — Monitor	2,800
Helona — Gunboat	1,392
Isabel — Yacht	938
Niagara — Yacht	2,600
Bridgeport — Destroyer tender	11,750
Dobbin — Destroyer tender	12,450
Melville — Destroyer tender	7,150
Whitney — Destroyer tender	12,450
Holland — Submarine tender	11,570
Henderson — Naval transport	10,000
	<u>91,496</u>

FRANCE.

Nom et type de bâtiment.	Déplacement. Tonnes.
Castor — Mouilleur de mines ...	3.150
Pollux — Mouilleur de mines ...	2.461
Commandant - Teste — Transport d'hydravions ...	10.000
Aisne — Aviso ...	600
Marne " " ...	600
Ancre " " ...	604
Scarpe " " ...	604
Suippe " " ...	604
Dunkerque " " ...	644
Laffaux " " ...	644
Bapaume " " ...	644
Nancy " " ...	644
Calais " " ...	644
Lassigny " " ...	644
Les Eparges " " ...	644
Remiremont " " ...	644
Tahure " " ...	644
Toul " " ...	644
Epinal " " ...	644
Liévin " " ...	644
(—) — Mouilleur de filets ...	2.293
	<u>28,644</u>

FRANCE.

Name and type of vessel.	Displacement. Tons.
Castor — Minelayer ...	3,150
Pollux — Minelayer ...	2,461
Commandant - Teste — Seaplane carrier ...	10,000
Aisne — Despatch vessel	600
Marne " " "	600
Ancre " " "	604
Scarpe " " "	604
Suippe " " "	604
Dunkerque " " "	644
Laffaux " " "	644
Bapaume " " "	644
Nancy " " "	644
Calais " " "	644
Lassigny " " "	644
Les Eparges " " "	644
Remiremont " " "	644
Tahure " " "	644
Toul " " "	644
Epinal " " "	644
Liévin " " "	644
(—) — Netlayer ...	2,293
	<u>28,644</u>

COMMUNAUTÉ DE NATIONS BRITANNIQUE.

Nom et type du bâtiment.	Déplacement. Tonnes.
Adventure — Mouilleur de mines ... (Royaume-Uni)	6.740
Albatross — Transport d'hydravions ... (Australie)	5.000
Erebus — Monitor ... (Royaume-Uni)	7.200
Terror — Monitor ... (Royaume-Uni)	7.200
Marshal Soult — Monitor ... (Royaume-Uni)	6.400
Olive — Aviso ... (Inde)	2.021
Medway — Bâtiment-dépôt pour sous-marins ... (Royaume-Uni)	15.000
	<u>49.561</u>

BRITISH COMMONWEALTH OF NATIONS.

Name and type of vessel.	Displacement. Tons.
Adventure — Minelayer ... (United Kingdom)	6,740
Albatross — Seaplane carrier ... (Australia)	5,000
Erebus — Monitor ... (United Kingdom)	7,200
Terror — Monitor ... (United Kingdom)	7,200
Marshal Soult — Monitor ... (United Kingdom)	6,400
Olive — Sloop ... (India)	2,021
Medway — Submarine depot ship ... (United Kingdom)	15,000
	<u>49,561</u>

ITALIE.		ITALY.	
Nom et type du bâtiment.	Déplacement. Tonnes.	Name and type of vessel.	Displacement. Tons.
Miraglia — Transport d'hydravions ...	4.880	Miraglia — Seaplane carrier ...	4.880
Fah di Bruno—Monitor	2.800	Fah di Bruno—Monitor	2.800
Monte Grappa—Monitor	605	Monte Grappa—Monitor	605
Montello—Monitor	605	Montello—Monitor	605
Monte Cengio—Ancien monitor	500	Monte Cengio — Ex-monitor	500
Monte Novegno—Ancien monitor	500	Monte Novegno — Ex-monitor	500
Campania—Aviso	2.070	Campania—Sloop	2.070
	11.960		11.960

JAPON.		JAPAN.	
Nom et type du bâtiment.	Déplacement. Tonnes.	Name and type of vessel.	Displacement. Tons.
Aso—Mouilleur de mines	7.180	Aso—Minelayer	7.180
Tokiwa " "	9.240	Tokiwa " "	9.240
Asama—Vieux croiseur...	9.240	Asama—Old cruiser	9.240
Yakumo " "	9.010	Yakumo " "	9.010
Izumo " "	9.180	Izumo " "	9.180
Iwate " "	9.180	Iwate " "	9.180
Kasuga " "	7.080	Kasuga " "	7.080
Yodo—Canonnière	1.320	Yodo—Gunboat	1.320
	61.130		61.430

PARTIE III.

Le Président des États-Unis d'Amérique, Sa Majesté le Roi de Grande-Bretagne, d'Irlande et des Territoires Britanniques au delà des Mers, Empereur des Indes, et Sa Majesté l'Empereur du Japon sont convenus entre eux des dispositions de la présente Partie III :

PART III.

The President of the United States of America, His Majesty the King of Great Britain, Ireland and the British Dominions beyond the Seas, Emperor of India, and His Majesty the Emperor of Japan, have agreed as between themselves to the provisions of this Part III :

ARTICLE 14.

Les bâtiments combattants de la flotte militaire des États-Unis, de la Communauté de Nations Britannique et du Japon, autres que les bâtiments de ligne, les porte-aéronefs et les bâtiments exempts de limitation aux termes de l'Article 8, seront limités, pendant la durée du présent Traité, comme il est prévu dans la présente Partie III, et, pour les bâtiments spéciaux, comme il est prévu à l'Article 12.

ARTICLE 14.

The naval combatant vessels of the United States, the British Commonwealth of Nations and Japan, other than capital ships, aircraft carriers and all vessels exempt from limitation under Article 8, shall be limited during the term of the present Treaty as provided in this Part III, and, in the case of special vessels, as provided in Article 12.

ARTICLE 15.

Aux fins de la présente Partie III, la définition des classes des croiseurs et des destroyers sera la suivante :

Croiseurs.

Bâtiments de guerre de surface, autres que les bâtiments de ligne ou les porte-aéronefs, dont le déplacement type dépasse 1.850 tonnes (1.880 tonnes métriques), ou dont l'artillerie dépasse le calibre de 130 millimètres (5,1 pouces).

La classe des croiseurs se divise en deux sous-classes, à savoir :

- (a) croiseurs portant un canon dont le calibre dépasse 155 millimètres (6,1 pouces) ;
- (b) croiseurs portant un canon dont le calibre ne dépasse pas 155 millimètres (6,1 pouces).

Destroyers.

Bâtiments de guerre de surface dont le déplacement type ne dépasse pas 1.850 tonnes (1.880 tonnes métriques) et dont le calibre de l'artillerie ne dépasse pas 130 millimètres (5,1 pouces).

ARTICLE 15.

For the purpose of this Part III the definition of the cruiser and destroyer categories shall be as follows :

Cruisers.

Surface vessels of war, other than capital ships or aircraft carriers, the standard displacement of which exceeds 1,850 tons (1,880 metric tons), or with a gun above 5.1-inch (130 mm.) calibre.

The cruiser category is divided into two sub-categories, as follows :

- (a) cruisers carrying a gun above 6.1-inch (155 mm.) calibre ;
- (b) cruisers carrying a gun not above 6.1-inch (155 mm.) calibre.

Destroyers.

Surface vessels of war, the standard displacement of which does not exceed 1,850 tons (1,880 metric tons), and with a gun not above 5.1-inch (130 mm.) calibre.

ARTICLE 16.

1. Dans les classes des croiseurs, des destroyers et des sous-marins, le tonnage achevé qui ne doit pas être dépassé à la date du 31 décembre 1936 est énoncé au tableau ci-après :

Classes.	États-Unis.	Communauté de Nations Britannique.	Japon.
Croiseurs : (a) à artillerie d'un calibre dépassant 155 mm. (6,1 pouces).	180.000 t. (182.880 t.m.)	146.800 t. (149.149 t.m.)	103.400 t. (110.134 t.m.)
(b) à artillerie d'un calibre de 155 mm. (6,1 pouces) ou au-dessous.	143.500 t. (145.796 t.m.)	102.200 t. (105.275 t.m.)	100.450 t. (102.057 t.m.)
Destroyers	150.000 t. (152.400 t.m.)	150.000 t. (152.400 t.m.)	105.500 t. (107.188 t.m.)
Sous-marins	52.700 t. (53.543 t.m.)	52.700 t. (53.543 t.m.)	52.700 t. (53.543 t.m.)

Categories.	United States.	British Commonwealth of Nations.	Japan.
Cruisers : (a) with guns of more than 6.1-inch (155 mm.) calibre.	180,000 tons (182,880 metric tons)	146,800 tons (149,149 metric tons)	103,400 tons (110,134 metric tons)
(b) with guns of 6.1-inch (155 mm.) calibre or less.	143,500 tons (145,796 metric tons)	102,200 tons (105,275 metric tons)	100,450 tons (102,057 metric tons)
Destroyers	150,000 tons (152,400 metric tons)	150,000 tons (152,400 metric tons)	105,500 tons (107,188 metric tons)
Submarines	52,700 tons (53,543 metric tons)	52,700 tons (53,543 metric tons)	52,700 tons (53,543 metric tons)

2. Les bâtiments qui ont pour effet de faire dépasser dans une classe quelconque le tonnage total indiqué au tableau ci-dessus seront déclassés graduellement durant la période prenant fin au 31 décembre 1936.

3. Le nombre maximum des croiseurs de la sous-classe (a) sera le suivant : pour les États-Unis, dix-huit ; pour la Communauté de Nations Britannique, quinze ; pour le Japon, douze.

ARTICLE 16.

1. The completed tonnage in the cruiser, destroyer and submarine categories which is not to be exceeded on the 31st December, 1936, is given in the following table :

4. Un pourcentage n'excédant pas seize pour cent du tonnage total alloué dans la classe des destroyers pourra être utilisé en bâtiments dépassant le déplacement type de 1.500 tonnes (1.524 tonnes métriques). Les destroyers achevés ou en construction au 1er avril 1930 qui sont en excédent de la limite de ce pourcentage peuvent être conservés, mais il ne pourra être construit ou acquis d'autres destroyers d'un déplacement type dépassant 1.500 tonnes (1.524 tonnes métriques) tant que la réduction à seize pour cent n'aura pas été effectuée.

5. Un pourcentage n'excédant pas vingt-cinq pour cent du tonnage total alloué dans la classe des croiseurs pourra être muni d'une plateforme ou d'un pont d'atterrissage pour aéronefs.

6. Il est entendu que les sous-marins visés aux paragraphes 2 et 3 de l'Article 7 sont comptés dans le tonnage total en sous-marins de la Haute Partie Contractante intéressée.

7. Le tonnage des bâtiments conservés conformément à l'Article 13 ou déclassés conformément à l'Annexe II à la Partie II du présent Traité ne sera pas compris dans le tonnage soumis à limitation.

ARTICLE 17.

Entre les croiseurs de la sous-classe (b) et les destroyers est autorisé un transfert ne dépassant pas dix pour cent du tonnage total alloué dans la classe ou sous-classe dans laquelle ce transfert s'effectuera.

ARTICLE 18.

Les États-Unis envisagent l'achèvement pour 1935 de

4. In the destroyer category not more than sixteen per cent. of the allowed total tonnage shall be employed in vessels of over 1,500 tons (1,524 metric tons) standard displacement. Destroyers completed or under construction on the 1st April, 1930, in excess of this percentage may be retained, but no other destroyers exceeding 1,500 tons (1,524 metric tons) standard displacement shall be constructed or acquired until a reduction to such sixteen per cent. has been effected.

5. Not more than twenty-five per cent. of the allowed total tonnage in the cruiser category may be fitted with a landing-on platform or deck for aircraft.

6. It is understood that the submarines referred to in paragraphs 2 and 3 of Article 7 will be counted as part of the total submarine tonnage of the High Contracting Party concerned.

7. The tonnage of any vessels retained under Article 13 or disposed of in accordance with Annex II to Part II of the present Treaty shall not be included in the tonnage subject to limitation.

ARTICLE 17.

A transfer not exceeding ten per cent. of the allowed total tonnage of the category or sub-category into which the transfer is to be made shall be permitted between cruisers of sub-category (b) and destroyers.

ARTICLE 18.

The United States contemplates the completion by 1935

quinze croiseurs de la sous-classe (a) d'un tonnage total de 150.000 tonnes (152.400 tonnes métriques). A chacun des trois autres croiseurs de la sous-classe (a) qu'ils ont le droit de construire, les États-Unis peuvent, s'ils le préfèrent, substituer 15.166 tonnes (15.409 tonnes métriques) de croiseurs de la sous-classe (b). Au cas où les États-Unis construiraient un ou plus desdits trois autres croiseurs de la sous-classe (a), la seizième unité ne sera pas mise sur cale avant 1933 et ne sera pas achevée avant 1936; la dix-septième ne sera pas mise sur cale avant 1934 et ne sera pas achevée avant 1937; la dix-huitième ne sera pas mise sur cale avant 1935 et ne sera pas achevée avant 1938.

ARTICLE 19.

Sauf les exceptions prévues à l'Article 20, le tonnage mis sur cale dans une classe soumise à limitation aux termes de l'Article 16 ne dépassera pas la quantité nécessaire pour atteindre le tonnage maximum alloué dans cette classe, ou pour remplacer les bâtiments qui deviendront "hors d'âge" avant le 31 décembre 1936. Néanmoins, le tonnage de remplacement pourra être mis sur cale pour les croiseurs et les sous-marins qui deviendront "hors d'âge" en 1937, 1938 et 1939 et pour les destroyers qui deviendront "hors d'âge" en 1937 et 1938.

ARTICLE 20.

Nonobstant les règles de remplacement énoncées à l'Annexe I à la Partie II :

(a) Le "Frobisher" et l'"Effingham" (Royaume-Uni)

of fifteen cruisers of sub-category (a) of an aggregate tonnage of 150,000 tons (152,400 metric tons). For each of the three remaining cruisers of sub-category (a) which it is entitled to construct the United States may elect to substitute 15,166 tons (15,409 metric tons) of cruisers of sub-category (b). In case the United States shall construct one or more of such three remaining cruisers of sub-category (a), the sixteenth unit will not be laid down before 1933 and will not be completed before 1936; the seventeenth will not be laid down before 1934 and will not be completed before 1937; the eighteenth will not be laid down before 1935 and will not be completed before 1938.

ARTICLE 19.

Except as provided in Article 20, the tonnage laid down in any category subject to limitation in accordance with Article 16 shall not exceed the amount necessary to reach the maximum allowed tonnage of the category, or to replace vessels that become "over-age" before the 31st December, 1936. Nevertheless, replacement tonnage may be laid down for cruisers and submarines that become "over-age" in 1937, 1938 and 1939, and for destroyers that become "over-age" in 1937 and 1938.

ARTICLE 20.

Notwithstanding the rules for replacement contained in Annex I to Part II :

(a) The "Frobisher" and "Effingham" (United King-

pourront être déclassés au cours de l'année 1936. En dehors des croiseurs en construction au 1er avril 1930, le tonnage total de remplacement des croiseurs à achever pour ce qui concerne la Communauté de Nations Britannique avant le 31 décembre 1936 ne dépassera pas 91.000 tonnes (92.456 tonnes métriques).

(b) Le Japon pourra remplacer le "Tama" par des constructions neuves à achever au cours de l'année 1936.

(c) En plus du remplacement des destroyers qui deviendront "hors d'âge" avant le 31 décembre 1936, le Japon pourra mettre sur cale dans chacune des années 1935 et 1936 un tonnage ne dépassant pas 5.200 tonnes (5.283 tonnes métriques), pour remplacer des navires qui deviendront "hors d'âge" en 1938 et 1939.

(d) Le Japon peut procéder à des remplacements anticipés pendant la durée du présent Traité, en mettant sur cale un tonnage de sous-marins ne dépassant pas 19.200 tonnes (19.507 tonnes métriques), dont 12.000 (12.192 tonnes métriques) au plus pourront être achevées au 31 décembre 1936.

ARTICLE 21.

Si, pendant la durée du présent Traité, une des Hautes Parties Contractantes estime que les exigences de sa sécurité nationale, en ce qui touche les bâtiments de guerre limités par la Partie III du présent Traité, sont matériellement affectées par les constructions nouvelles de toute Puissance autre que celles qui se sont liées par la Partie III du présent Traité, cette Haute

dom) may be disposed of during the year 1936. Apart from the cruisers under construction on the 1st April, 1930, the total replacement tonnage of cruisers to be completed, in the case of the British Commonwealth of Nations, prior to the 31st December, 1936, shall not exceed 91,000 tons (92,456 metric tons).

(b) Japan may replace the "Tama" by new construction to be completed during the year 1936.

(c) In addition to replacing destroyers becoming "over-age" before the 31st December, 1936, Japan may lay down, in each of the years 1935 and 1936, not more than 5,200 tons (5,283 metric tons) to replace part of the vessels that become "over-age" in 1938 and 1939.

(d) Japan may anticipate replacement during the term of the present Treaty by laying down not more than 19,200 tons (19,507 metric tons) of submarine tonnage, of which not more than 12,000 tons (12,192 metric tons) shall be completed by the 31st December, 1936.

ARTICLE 21.

If, during the term of the present Treaty, the requirements of the national security of any High Contracting Party in respect of vessels of war limited by Part III of the present Treaty are in the opinion of that Party materially affected by new construction of any Power other than those who have joined in Part III of this Treaty, that High Contracting Party will notify the other

Partie Contractante notifiera aux autres Parties à la Partie III l'augmentation à laquelle elle aura besoin de procéder dans une ou plusieurs des classes desdits bâtiments de guerre, spécifiant en particulier les augmentations envisagées et leurs raisons, et elle aura le droit de procéder à cette augmentation. En suite de quoi, les autres Parties à la Partie III du présent Traité auront le droit de procéder à des augmentations proportionnées dans la classe ou les classes spécifiées; lesdites autres Parties se consulteront promptement par la voie diplomatique au sujet de la situation ainsi créée.

PARTIE IV.

ARTICLE 22.

Les dispositions suivantes sont acceptées comme règles établies du Droit International:

(1) Dans leur action à l'égard des navires de commerce, les sous-marins doivent se conformer aux règles du Droit International auxquelles sont soumis les bâtiments de guerre de surface.

(2) En particulier, excepté dans le cas de refus persistant de s'arrêter après sommation régulière ou de résistance active à la visite, un navire de guerre, qu'il soit bâtiment de surface ou sous-marin, ne peut couler ou rendre incapable de naviguer un navire de commerce sans avoir au préalable mis les passagers, l'équipage et les papiers de bord en lieu sûr. A cet effet, les embarcations du bord ne sont

Parties to Part III as to the increase required to be made in its own tonnages within one or more of the categories of such vessels of war, specifying particularly the proposed increases and the reasons therefor, and shall be entitled to make such increase. Thereupon the other Parties to Part III of this Treaty shall be entitled to make a proportionate increase in the category or categories specified; and the said other Parties shall promptly advise with each other through diplomatic channels as to the situation thus presented.

PART IV.

ARTICLE 22.

The following are accepted as established rules of International Law:

(1) In their action with regard to merchant ships, submarines must conform to the rules of International Law to which surface vessels are subject.

(2) In particular, except in the case of persistent refusal to stop on being duly summoned, or of active resistance to visit or search, a warship, whether surface vessel or submarine, may not sink or render incapable of navigation a merchant vessel without having first placed passengers, crew and ship's papers in a place of safety. For this purpose the ship's boats are not regarded as a place of safety

pas considérées comme un lieu sûr, à moins que la sécurité des passagers et de l'équipage ne soit assurée, compte tenu de l'état de la mer et des conditions atmosphériques, par la proximité de la terre ou la présence d'un autre bâtiment qui soit en mesure de les prendre à bord.

Les Hautes Parties Contractantes invitent toutes les autres Puissances à exprimer leur assentiment aux règles ci-dessus énoncées.

unless the safety of the passengers and crew is assured, in the existing sea and weather conditions, by the proximity of land, or the presence of another vessel which is in a position to take them on board.

The High Contracting Parties invite all other Powers to express their assent to the above rules.

PARTIE V.

ARTICLE 23.

Le présent Traité demeurera en vigueur jusqu'au 31 décembre 1936, sauf les exceptions suivantes:

(1) la Partie IV restera en vigueur sans limite de durée;

(2) les dispositions des Articles 3, 4 et 5, ainsi que celles de l'Article 11 et de l'Annexe II à la Partie II en tant qu'elles concernent les porte-aéronefs, resteront en vigueur aussi longtemps que le Traité de Washington.

A moins que les Hautes Parties Contractantes n'en décident autrement en raison d'un accord plus général limitant les armements navals et auquel elles seraient toutes parties, elles se réuniront en conférence en 1935 en vue de conclure un nouveau traité qui remplacerait le présent Traité et répondrait aux mêmes fins. Il est entendu qu'aucune des dispositions du présent Traité ne préjuge l'atti-

PART V.

ARTICLE 23.

The present Treaty shall remain in force until the 31st December, 1936, subject to the following exceptions:

(1) Part IV shall remain in force without limit of time;

(2) the provisions of Articles 3, 4 and 5, and of Article 11 and Annex II to Part II so far as they relate to aircraft carriers, shall remain in force for the same period as the Washington Treaty.

Unless the High Contracting Parties should agree otherwise by reason of a more general agreement limiting naval armaments, to which they all become parties, they shall meet in conference in 1935 to frame a new treaty to replace and to carry out the purposes of the present Treaty, it being understood that none of the provisions of the present Treaty shall prejudice the attitude of any of the High

tude d'aucune des Hautes Contracting Parties at the conference. Parties Contractantes à cette conference agreed to. conférence.

ARTICLE 24.

1. Le présent Traité sera ratifié par les Hautes Parties Contractantes selon les procédures constitutionnelles auxquelles elles sont respectivement tenues. et les ratifications en seront déposées à Londres le plus tôt qu'il sera possible. Des expéditions authentiques de tous les procès-verbaux de dépôt des ratifications seront transmises aux Gouvernements de toutes les Hautes Parties Contractantes.

2. Dès que les ratifications des États-Unis d'Amérique, de Sa Majesté le Roi de Grande-Bretagne, d'Irlande et des Territoires Britanniques au delà des Mers, l'Empereur des Indes, à l'égard de chacun des Membres de la Communauté de Nations Britannique énumérés au préambule du présent Traité et celle de Sa Majesté l'Empereur du Japon auront été déposées, le Traité entrera en vigueur à l'égard de ces Hautes Parties Contractantes.

3. A la date d'entrée en vigueur visée dans l'alinéa précédent, les Parties I, II, IV et V du présent Traité entreront en vigueur à l'égard de la République Française et du Royaume d'Italie si leurs ratifications ont été déposées à cette date; au cas contraire, elles entreront en vigueur à l'égard de chacune de ces deux Puissances lors du dépôt de sa ratification.

4. Les droits et obligations résultant de la Partie III du présent

ARTICLE 24.

1. The present Treaty shall be ratified by the High Contracting Parties in accordance with their respective constitutional methods and the ratifications shall be deposited at London as soon as possible. Certified copies of all the *procès-verbaux* of the deposit of ratifications will be transmitted to the Governments of all the High Contracting Parties.

2. As soon as the ratifications of the United States of America, of His Majesty the King of Great Britain, Ireland and the British Dominions beyond the Seas, Emperor of India, in respect of each and all of the Members of the British Commonwealth of Nations as enumerated in the preamble of the present Treaty, and of His Majesty the Emperor of Japan have been deposited, the Treaty shall come into force in respect of the said High Contracting Parties.

3. On the date of the coming into force referred to in the preceding paragraph, Parts I, II, IV and V of the present Treaty will come into force in respect of the French Republic and the Kingdom of Italy if their ratifications have been deposited at that date; otherwise these Parts will come into force in respect of each of those Powers on the deposit of its ratification.

4. The rights and obligations resulting from Part III of the

Traité sont limités aux Hautes Parties Contractantes visées au paragraphe 2 du présent Article. Les Hautes Parties Contractantes détermineront d'un commun accord la date à partir de laquelle, et les modalités selon lesquelles les obligations que les Hautes Parties Contractantes visées au paragraphe 2 du présent Article ont assumées en vertu de ladite Partie III les lieront vis-à-vis de la France et de l'Italie; le susdit accord déterminera en même temps les obligations correspondantes de la France et de l'Italie vis-à-vis des autres Hautes Parties Contractantes.

ARTICLE 25.

Après le dépôt des ratifications de toutes les Hautes Parties Contractantes, le Gouvernement de Sa Majesté dans le Royaume-Uni de Grande-Bretagne et d'Irlande du Nord communiquera les dispositions figurant dans la Partie IV du présent Traité à toutes les Puissances non signataires dudit Traité et les invitera à y adhérer expressément et sans limite de durée.

Cette adhésion sera effectuée par une déclaration adressée au Gouvernement de Sa Majesté dans le Royaume-Uni de Grande-Bretagne et d'Irlande du Nord.

ARTICLE 26.

Le présent Traité, dont les textes français et anglais feront foi, restera déposé dans les archives du Gouvernement de Sa Majesté dans le Royaume-Uni de Grande-Bretagne et d'Irlande du Nord. Des expédi-

present Treaty are limited to the High Contracting Parties mentioned in paragraph 2 of this Article. The High Contracting Parties will agree as to the date on which, and the conditions under which, the obligations assumed under the said Part III by the High Contracting Parties mentioned in paragraph 2 of this Article will bind them in relation to France and Italy; such agreement will determine at the same time the corresponding obligations of France and Italy in relation to the other High Contracting Parties.

ARTICLE 25.

After the deposit of the ratifications of all the High Contracting Parties, His Majesty's Government in the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland will communicate the provisions inserted in Part IV of the present Treaty to all Powers which are not signatories of the said Treaty, inviting them to accede thereto definitely and without limit of time.

Such accession shall be effected by a declaration addressed to His Majesty's Government in the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland.

ARTICLE 26.

The present Treaty, of which the French and English texts are both authentic, shall remain deposited in the archives of His Majesty's Government in the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland.